



高齢者の身じまいを含む重要な意思決定における 意思の尊重とその支援に関するアンケート調査結果

荻野琴* 沼田詩暖† 泰平苑子‡ 立場貴文§
沢村香苗** 児玉聡††

概要

高齢期への備えや身じまいの状況等を調査するため、40代以上を対象にアンケートを実施した。主な結果は以下の通りである。

- 急な体調悪化など、万が一の時への備えをしているかについて、40代～60代では70%近い人が特に備えていることはないと回答した。一方、70代以上では半数以上の人が、急な体調悪化などの万が一の時に備えて、重要書類の保管場所を家族等に伝えるなど、何らかの準備を行っていた。また、高齢の家族等を実際にサポートした経験がある人ほど、備えをしている割合が高かった。
- いざという時に頼れる相手として、40代～60代では配偶者・パートナーを選択する割合が高かったが、70代以上では子どもと回答する割合が高かった。高齢期になると、配偶者やパートナーもケアが必要であったり、離別していたりで、万が一のときに頼ることが難しくなるといった事情がうかがえた。
- 高齢期に高齢者終身サポートサービスを利用したいかについては、40代を中心に2割程度の人が強い関心を示した一方で、サービス事業者の質や良し悪しを懸念し、利用を躊躇するという回答も2割程度みられた。
- 高齢期の身じまいにどのような希望を持っているかについては、全年代で家族や友人との時間を大切にしたいと回答する割合がもっとも高かった。また、70代以上では他の年代と比べて、金銭管理や資産の整理を行って家族に負担をかけないようにすることと回答する割合が高く、家族に配慮した身じまいを希望する傾向がみられた。さらに、最後をどのように迎えたいかを考えエンディングノート等を作成することなど、具体的な終活への意欲も高い傾向にあった。
- 一方、高齢期の心配事については、40代～50代の若年層では老後の資金など経済的な不安が高く、70代以上の高年齢層では家族などに介護の負担をかけることや、認知症などで判断能力が低下して物事を決められなくなることに不安を感じる割合が高かった。

* 京都大学大学院文学研究科・特定研究員

† 京都大学大学院文学研究科・修士課程

‡ 株式会社日本総合研究所創発戦略センター・
インキュベーションプロデューサー

§ 京都大学大学院文学研究科・研究員

** 株式会社日本総合研究所創発戦略センター・
スペシャリスト

†† 京都大学大学院文学研究科・教授

キーワード：高齢期の身じまい、高齢期の家族によるサポート、高齢者終身サポートサービス、高齢期についての希望・心配事

目次

1 調査概要	3
1.1 調査目的	3
1.2 調査方法	3
1.3 回収状況	3
2 調査結果	3
2.1 基本情報	3
2.1.1 居住地域	3
2.1.2 世帯年収	4
2.1.3 個人年収	5
2.1.4 職業	6
2.1.5 未婚・既婚の別	6
2.1.6 子の有無	7
2.1.7 住まいの種別	7
2.1.8 独居・同居	8
2.1.9 同居している人	9
2.1.10 別居家族・親族との連絡状況	10
2.1.11 月1回以上連絡を取る友人・知人の有無	11
2.1.12 近所付き合いについて	12
2.2 身じまいについての備え	14
2.2.1 高齢の家族・親族への支援経験の有無	14
2.2.2 高齢期の身じまいについて備えていること	15
2.3 万が一のときに頼りたい相手・実際に頼る相手	21
2.3.1 万が一のときに頼りたい相手（希望）	21
2.3.2 実際に頼れる相手	23
2.3.3 頼りたい相手をお願いする際の気持ち	30
2.3.4 身元保証を頼む際に重要なこと	31
2.3.5 身元保証サービスの利用についての考え	31
2.3.6 家族が身元保証サービスを利用することについての考え	33
2.3.7 高齢期においてサポートを受けたい相手と比率	34
2.4 高齢期の身じまいについての望みと心配事	37
2.4.1 高齢期の身じまいについての望み	37
2.4.2 高齢期の身じまいについての心配事	40
2.4.3 家族・親族の高齢期の身じまいについての望み	43
2.4.4 家族・親族の高齢期の身じまいについての心配事	44

1 調査概要

1.1 調査目的

高齢期の身じまいについての備えや経験、いざという時のサポートの有無、また身じまいに関する希望や心配事等を把握するため、アンケート調査を実施した。

1.2 調査方法

インターネット調査会社のモニターを対象としたインターネット調査を行った。

調査実施期間：2025年1月30日～2025年2月

調査対象：40代以上の男女

1.3 回収状況

有効回収数：1032件

回収状況：性別・年代によって割り付けを行い回収した。詳細は下記表の通りである。

図表 1. 割付・回収状況

	割付	回収数	回収数全体に占める割合
男性	40代	129	12.5%
	50代	129	12.5%
	60代	129	12.5%
	70代以上	129	12.5%
女性	40代	129	12.5%
	50代	129	12.5%
	60代	129	12.5%
	70代以上	129	12.5%
合計		1032	100%

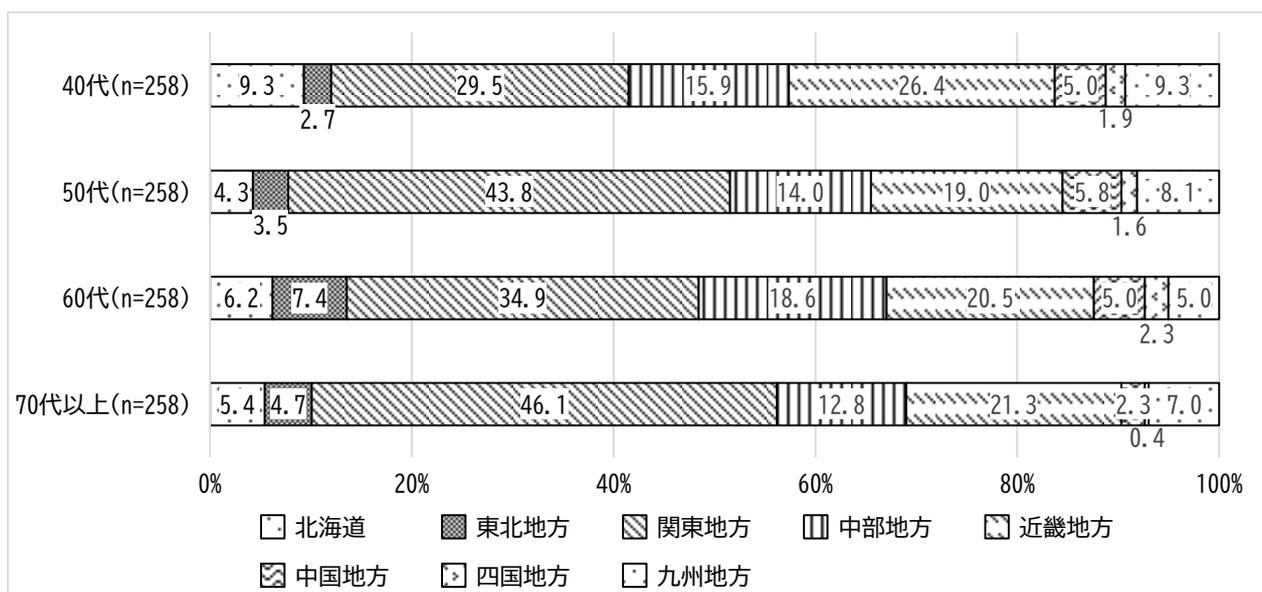
2 調査結果

2.1 基本情報

2.1.1 居住地域

インターネット調査会社の登録情報から居住地域をみると、各年代で関東地方の割合が最も高く、次いで近畿地方、中部地方が高くなっている。

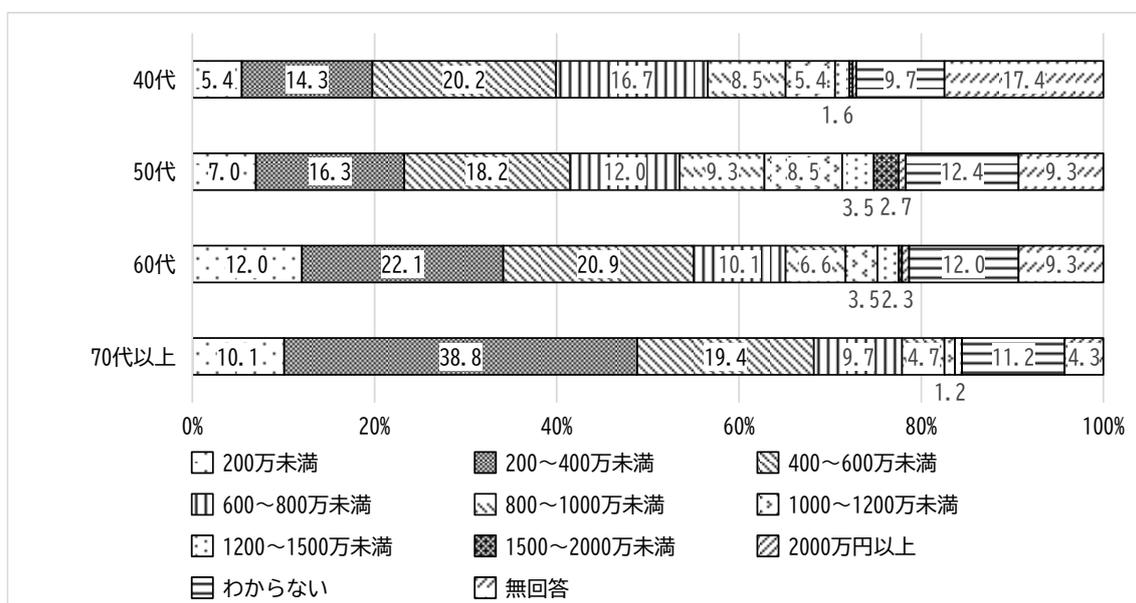
図表 2. 居住地域：単数回答



2.1.2 世帯年収

インターネット調査会社の登録情報から世帯年収をみると、40代、50代では「400～600万未満」の割合が2割前後で最も高かった。一方、60代、70代以上では、「200～400万未満」の割合が最も高く、50代では2割強、70代以上では4割弱であった。また、60代、70代以上では、「200万未満」も1割強みられた。

図表 3. 世帯年収：単数回答



(※1.0%以下は非表示)

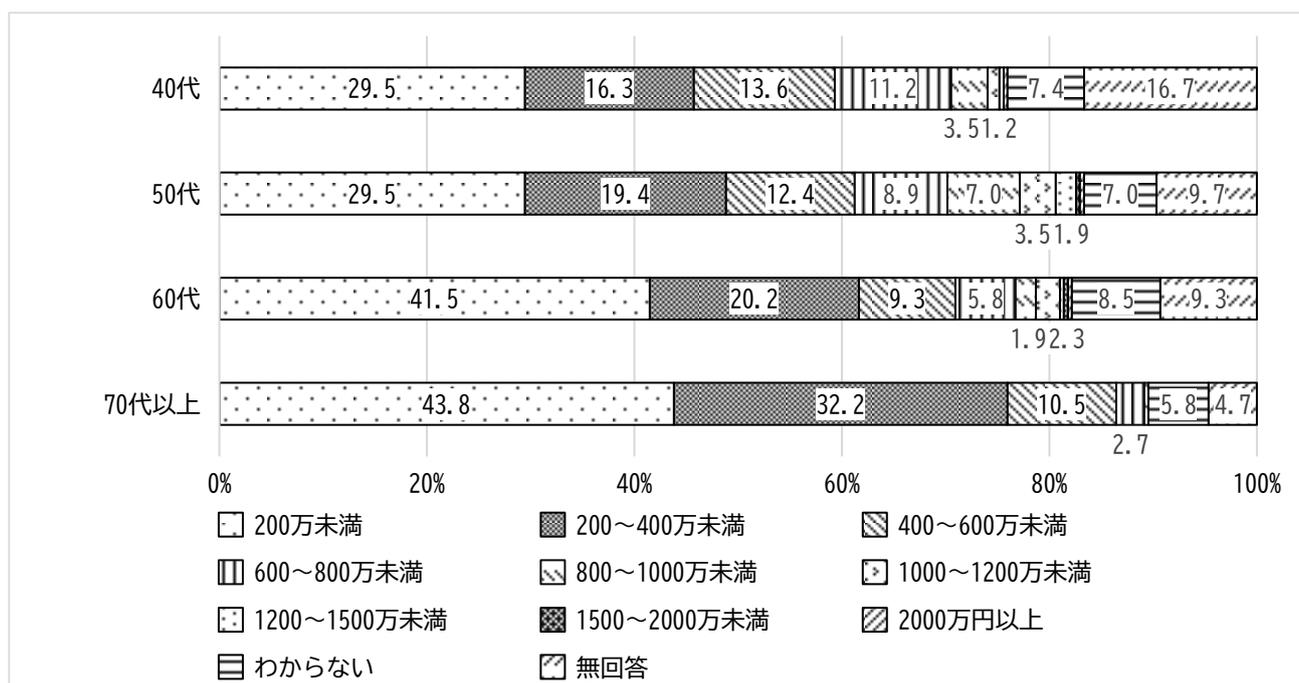
〈数値表〉

		全体	200万未満	200～400万未満	400～600万未満	600～800万未満	800～1000万未満	1000～1200万未満	1200～1500万未満	1500～2000万未満	2000万円以上	わからない	無回答
年代	40代	(258)	n 14 5.4	37 14.3	52 20.2	43 16.7	22 8.5	14 5.4	4 1.6	1 0.4	1 0.4	25 9.7	45 17.4
	50代	(258)	n 18 7.0	42 16.3	47 18.2	31 12.0	24 9.3	22 8.5	9 3.5	7 2.7	2 0.8	32 12.4	24 9.3
	60代	(258)	n 31 12.0	57 22.1	54 20.9	26 10.1	17 6.6	9 3.5	6 2.3	1 0.4	2 0.8	31 12.0	24 9.3
	70代以上	(258)	n 26 10.1	100 38.8	50 19.4	25 9.7	12 4.7	3 1.2	2 0.8	0 0.0	0 0.0	29 11.2	11 4.3

2.1.3 個人年収

インターネット調査会社の登録情報から個人年収をみると、いずれの年代でも「200万未満」の割合が最も高く、40代、50代では3割弱、60代、70代以上では4割強、次いで「200～400万未満」の割合が高くなっていた。

図表 4. 個人年収：単数回答



(※1.0%以下は非表示)

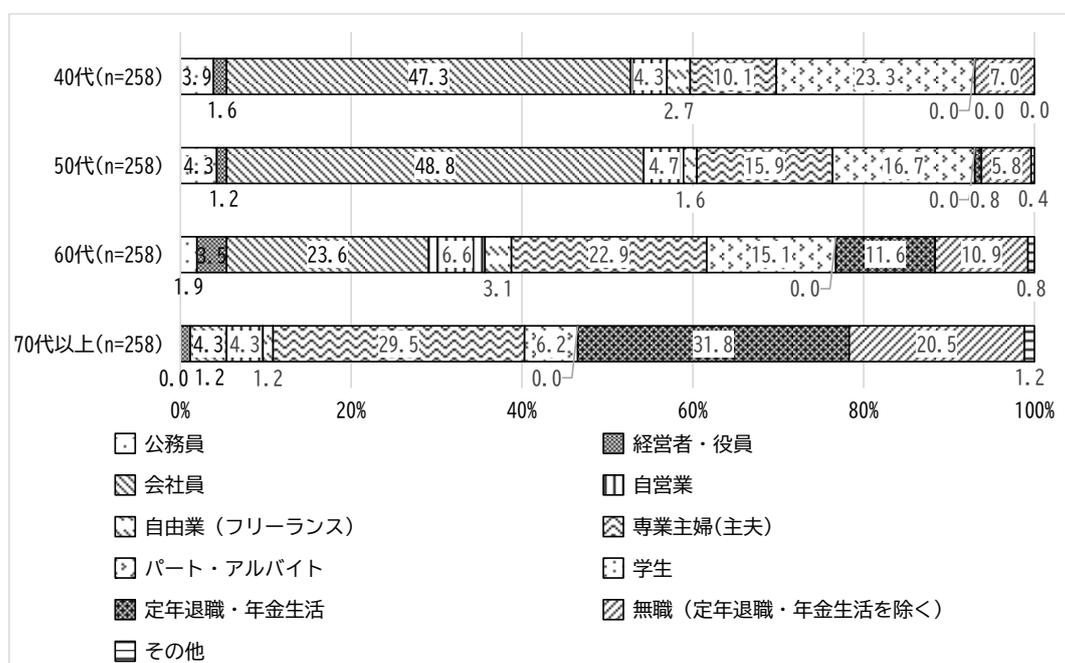
〈数値表〉

		全体	200万未満	200～400万未満	400～600万未満	600～800万未満	800～1000万未満	1000～1200万未満	1200～1500万未満	1500～2000万未満	2000万円以上	わからない	無回答
年代	40代	(258)	n 76 %	42 16.3	35 13.6	29 11.2	9 3.5	3 1.2	1 0.4	0 0.0	1 0.4	19 7.4	43 16.7
	50代	(258)	n 76 %	50 19.4	32 12.4	23 8.9	18 7.0	9 3.5	5 1.9	1 0.4	1 0.4	18 7.0	25 9.7
	60代	(258)	n 107 %	52 20.2	24 9.3	15 5.8	5 1.9	6 2.3	1 0.4	1 0.4	1 0.4	22 8.5	24 9.3
	70代以上	(258)	n 113 %	83 32.2	27 10.5	7 2.7	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 5.8	12 4.7

2.1.4 職業

現在の職業についてみると、40代、50代では「会社員」の割合が最も高く、いずれも5割弱、次いで「パート・アルバイト」の割合が40代で2割強、50代で2割弱と高くなっていた。一方、60代では、「会社員」、「専業主婦（主夫）」の割合が2割強で高く、「パート・アルバイト」が2割5分、70代以上では「定年退職・年金生活」の割合が3割強、「パート・アルバイト」が3割弱、「無職」が2割強であった。

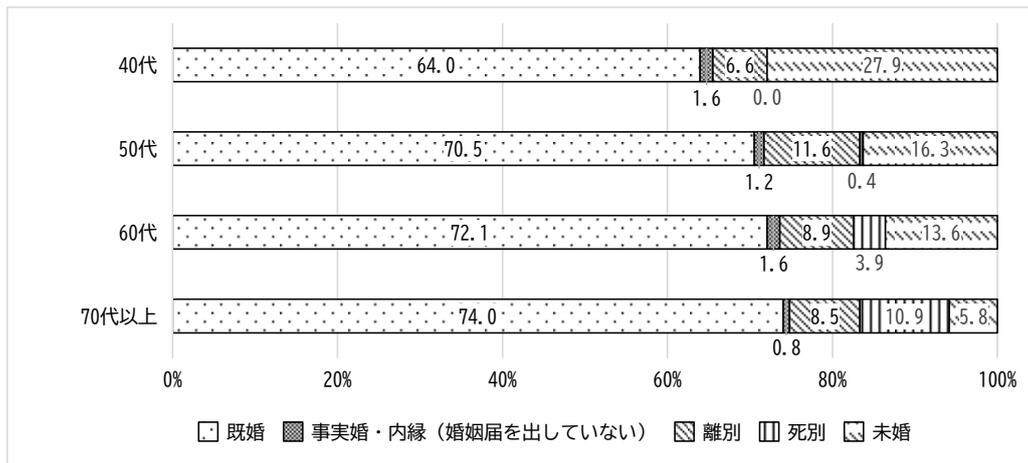
図表 5. 現在の職業：単数回答



2.1.5 未婚・既婚の別

既婚・未婚の別をみると、いずれの年代でも「既婚」の割合が最も高かった。年代別の特徴では、40代で「未婚」が3割弱で2番目に高くなっていた。また、70代以上では「死別」の割合が1割強にのぼった。

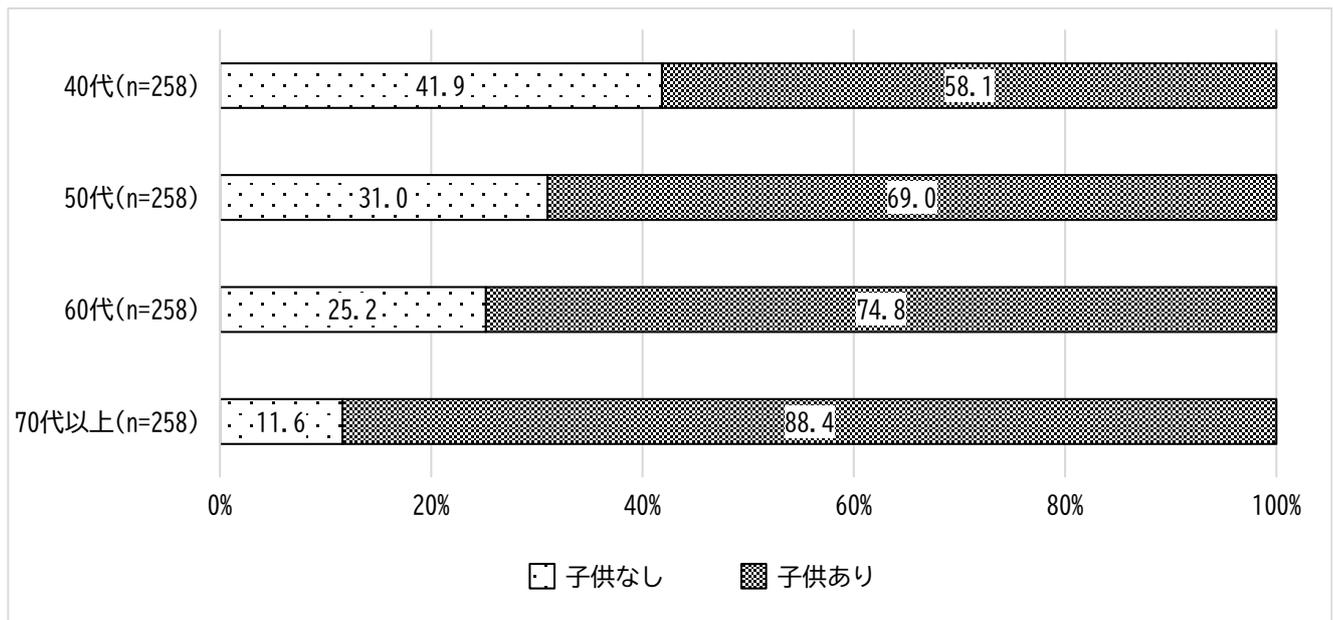
図表 6. 未婚・既婚の別：単数回答



2.1.6 子の有無

インターネット調査会社への登録情報から子の有無をみると、いずれの年代でも「子供あり」の割合が最も高く、40代で6割弱、50代で7割弱、60代で7割5分、70代以上で9割弱となっていた。年代が若いほど、子供がいる割合は低くなっていた。

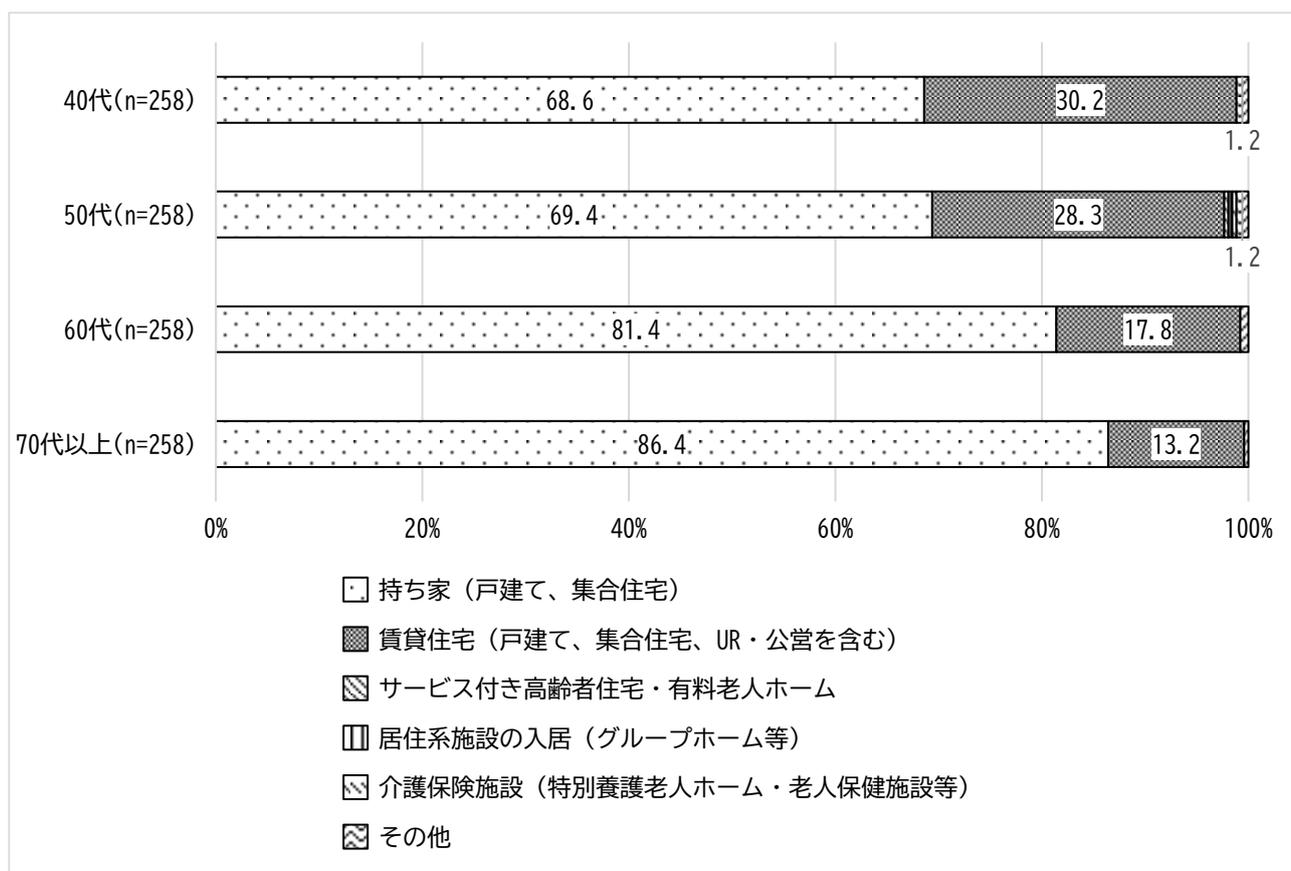
図表 7. 子の有無：単数回答



2.1.7 住まいの種別

現在住んでいる住まいの種別をみると、いずれの年代でも「持ち家（戸建て、集合住宅）」の割合が最も高く、40代、50代で7割弱、60代で8割強、70代以上では9割弱であった。40代、50代では、「賃貸住宅（戸建て、集合住宅、UR・公営を含む）」も3割前後と割合が高かった。

図表 8. 現在住んでいる住まいの種別：単数回答



(※1.0%以下は非表示)

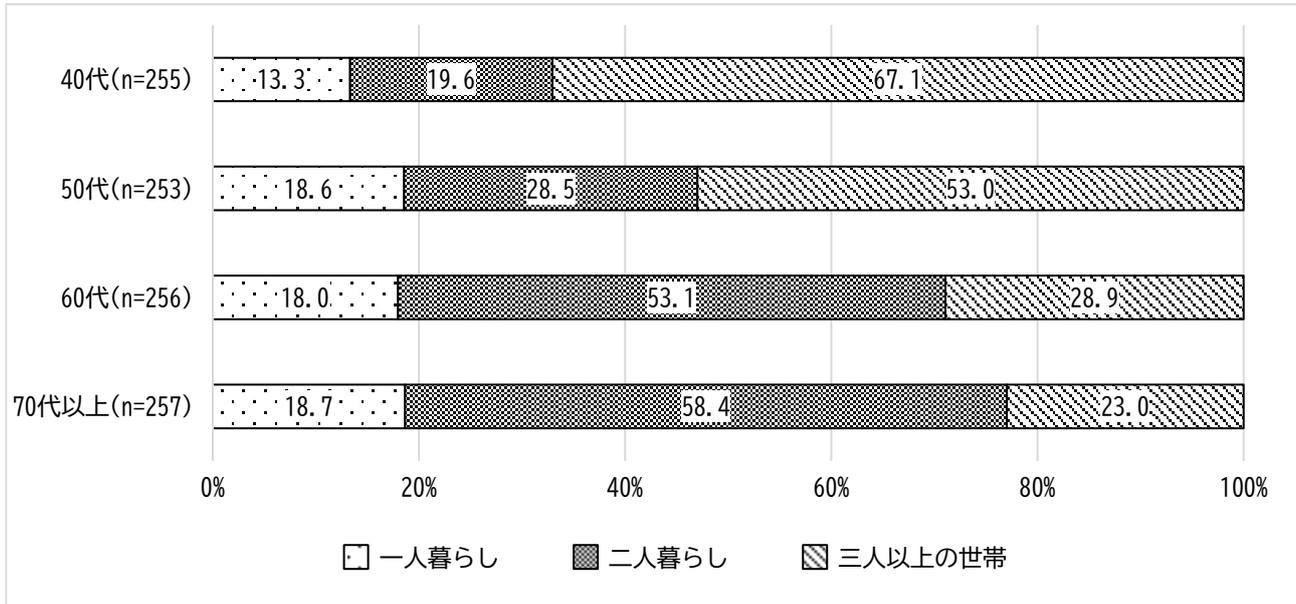
〈数値表〉

年代		全体	持ち家 (戸建て、 集合住宅)	賃貸住宅 (戸建て、 集合住宅。U R・公営を含 む)	サービス付 き高齢者住 宅・有料老 人ホーム	居住系施設 の入居 (グループ ホーム等)	介護保険施 設 (特別養護 老人ホーム ・老人保健 施設等)	その他
40代	(258)	n	177	78	0	0	0	3
		%	68.6	30.2	0.0	0.0	0.0	1.2
50代	(258)	n	179	73	1	1	1	3
		%	69.4	28.3	0.4	0.4	0.4	1.2
60代	(258)	n	210	46	0	0	0	2
		%	81.4	17.8	0.0	0.0	0.0	0.8
70代以上	(258)	n	223	34	0	0	0	1
		%	86.4	13.2	0.0	0.0	0.0	0.4

2.1.8 独居・同居

住まいの種別について、「持ち家 (戸建て、集合住宅)」、または「賃貸住宅 (戸建て、集合住宅、UR・公営を含む)」と回答した者に対して、独居か、同居者がいるかを尋ねた。40代、50代では「三人以上の世帯」が最も割合が高く、40代で7割弱、50代で5割強であった。一方、60代、70代以上では、「二人暮らし」の割合が最も高く、60代で5割強、70代以上で6割弱であった。また、50代、60代、70代以上では、「一人暮らし」の回答も2割弱にのぼった。

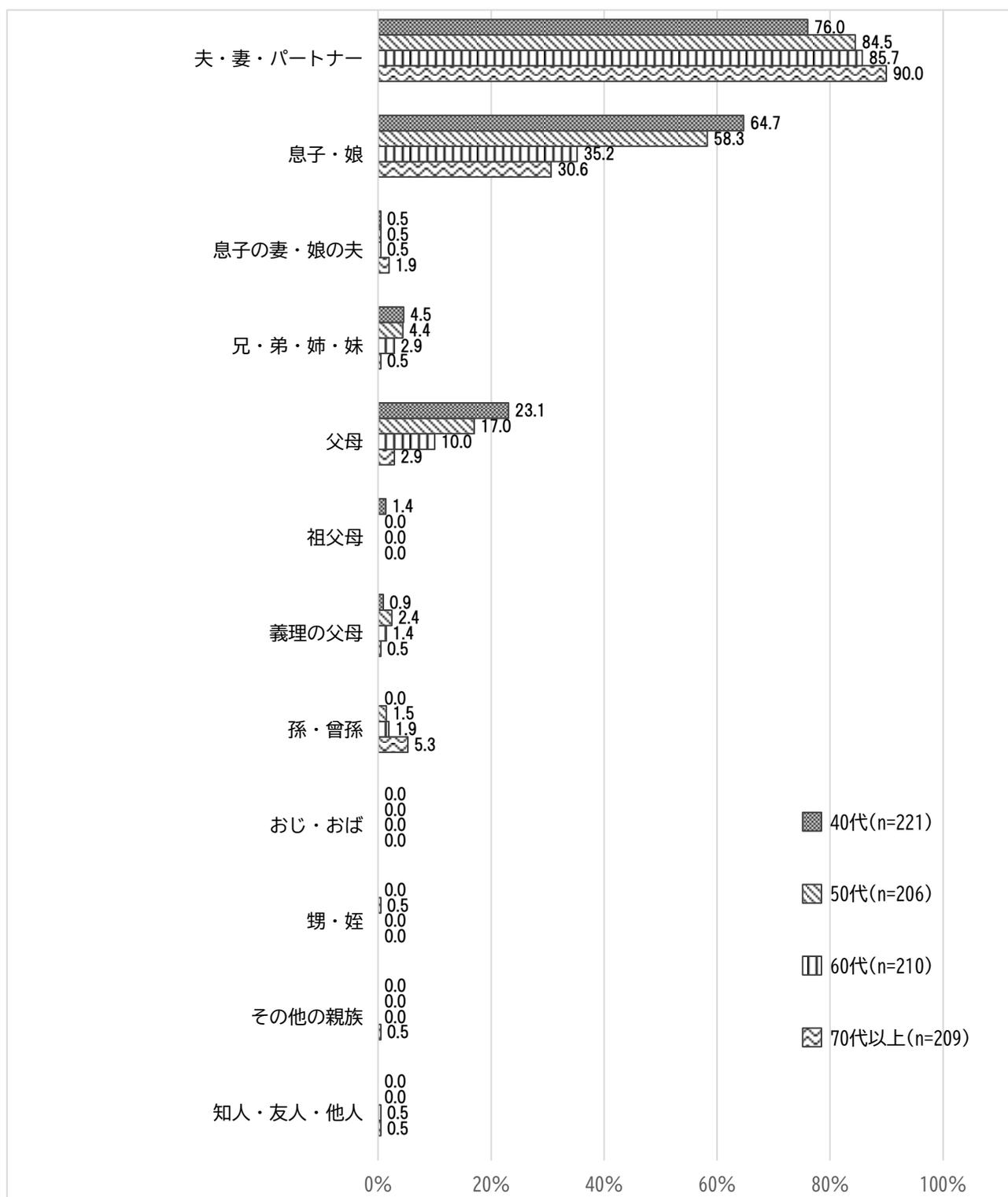
図表 9. 独居・同居の別：単数回答



2.1.9 同居している人

独居、同居の別について「二人暮らし」、「三人暮らし」と回答した者に対して、同居者との続柄を尋ねた。いずれの年代でも「夫・妻・パートナー」の割合が最も高く、次いで「息子・娘」の割合が高かった。40代、50代では「父母」と回答した者も2割前後みられた。

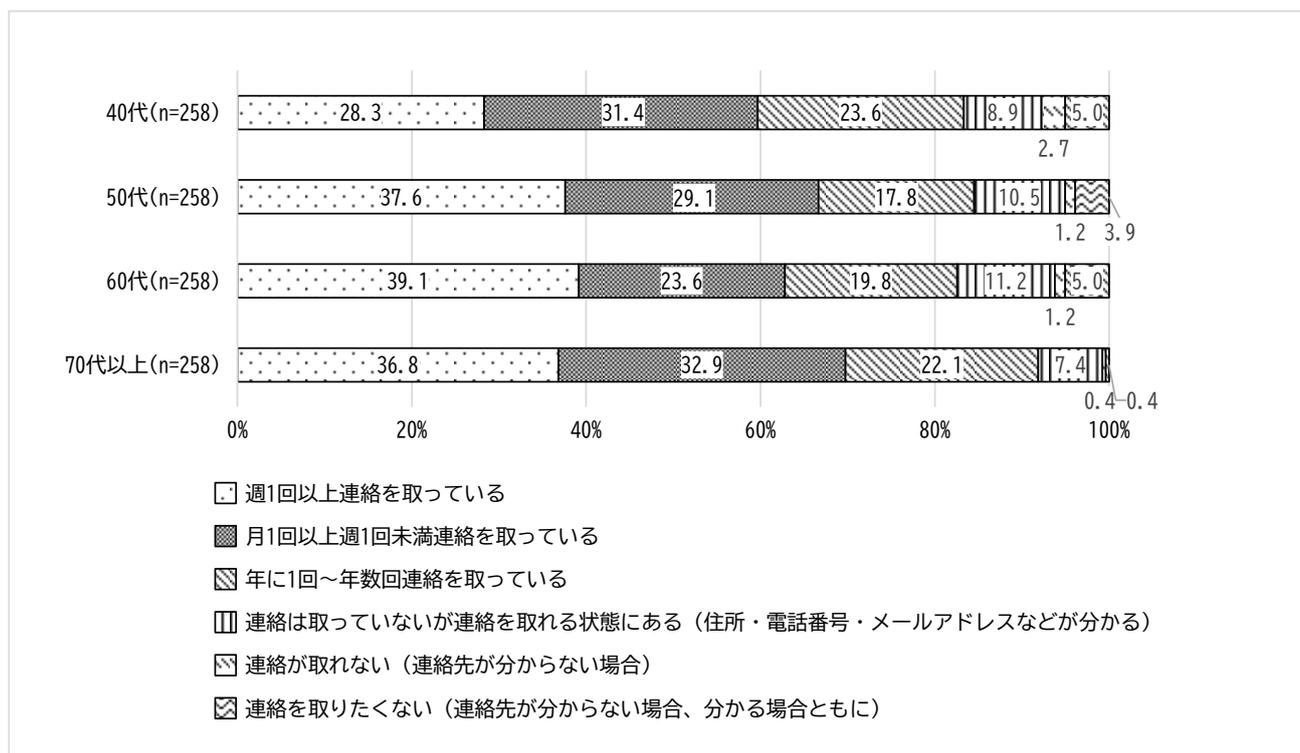
図表 10. 現在同居している人



2.1.10 別居家族・親族との連絡状況

別居している家族や親族への程度の頻度で連絡を取っているかを尋ねた。40代では「月1回以上週1回未満連絡を取っている」の割合が最も高く3割強、50代以上の年代では「週1回以上連絡を取っている」と回答した割合が4割弱で最も高かった。また、40代、50代、60代では「連絡をとりたくない」割合が5%程度みられた。

図表 11. 別居している家族・親族との連絡状況：単数回答



〈男女別〉

別居している家族・親族との連絡状況を男女別にみると、男性の方が女性に比べて連絡頻度が低く、「週1回以上連絡とっている」と回答した割合では、男性が3割強であった一方で、女性では4割強と10ポイント差があった。

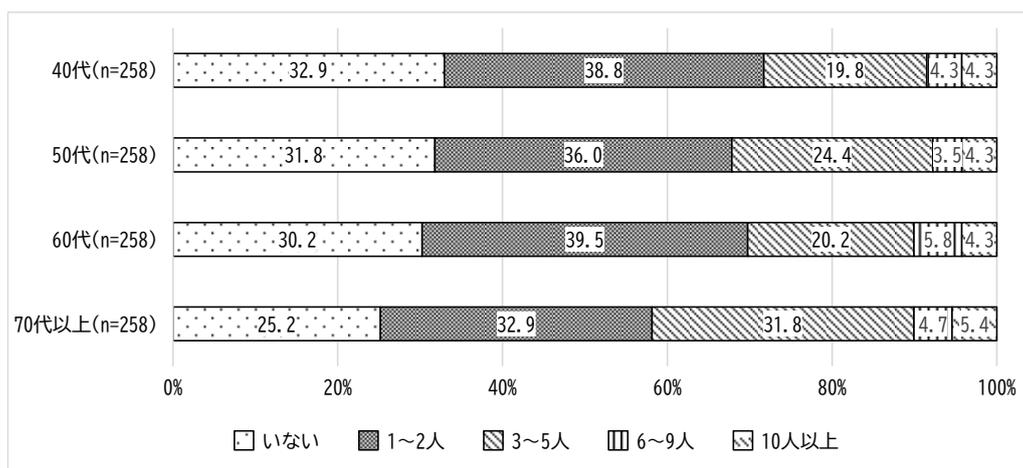
図表 12. 男女別 別居している家族・親族との連絡状況：単数回答

		全体		週1回以上連絡を取っている	月1回以上週1回未満連絡を取っている	年に1回～年数回連絡を取っている	連絡は取っていないが連絡を取れる状態にある（住所・電話番号・メールアドレスなどが分かる）	連絡が取れない（連絡先が分からない場合）	連絡を取りたくない（連絡先が分からない場合、分かる場合ともに）
性別	男性	(516)	n	157	140	128	60	10	21
			%	30.4	27.1	24.8	11.6	1.9	4.1
	女性	(516)	n	209	162	87	38	4	16
			%	40.5	31.4	16.9	7.4	0.8	3.1

2.1.11 月1回以上連絡を取る友人・知人の有無

月1回以上連絡をとる友人、知人の有無をみると、いずれの年代でも「1～2人」と回答した割合が3割強～4割弱で最も高かった。また、40代、50代、60代では「いない」の割合も3割強で2番目に高かった。70代以上では「いない」が2割5分にとどまった一方で、「6～9人」との回答が3割強にのぼり、他年代に比べて頻回に連絡を取る知人・友人の人数が多かった。

図表 13. 月 1 回以上連絡を取る友人・知人の有無：単数回答



〈年代・男女別〉

月 1 回以上連絡を取る友人・知人の有無を年代ごとに男女別で見ると、全ての年代で男性の方が女性に比べて「いない」と回答した割合が高く、特に 50 代、60 代では 4 割にのぼった。また、70 代でも、男性の 3 割強が「いない」と回答しており、女性よりも約 16 ポイント高かった。一方、女性では 40 代で「いない」の回答が多かったが、50 代以上では 2 割前後にとどまった。

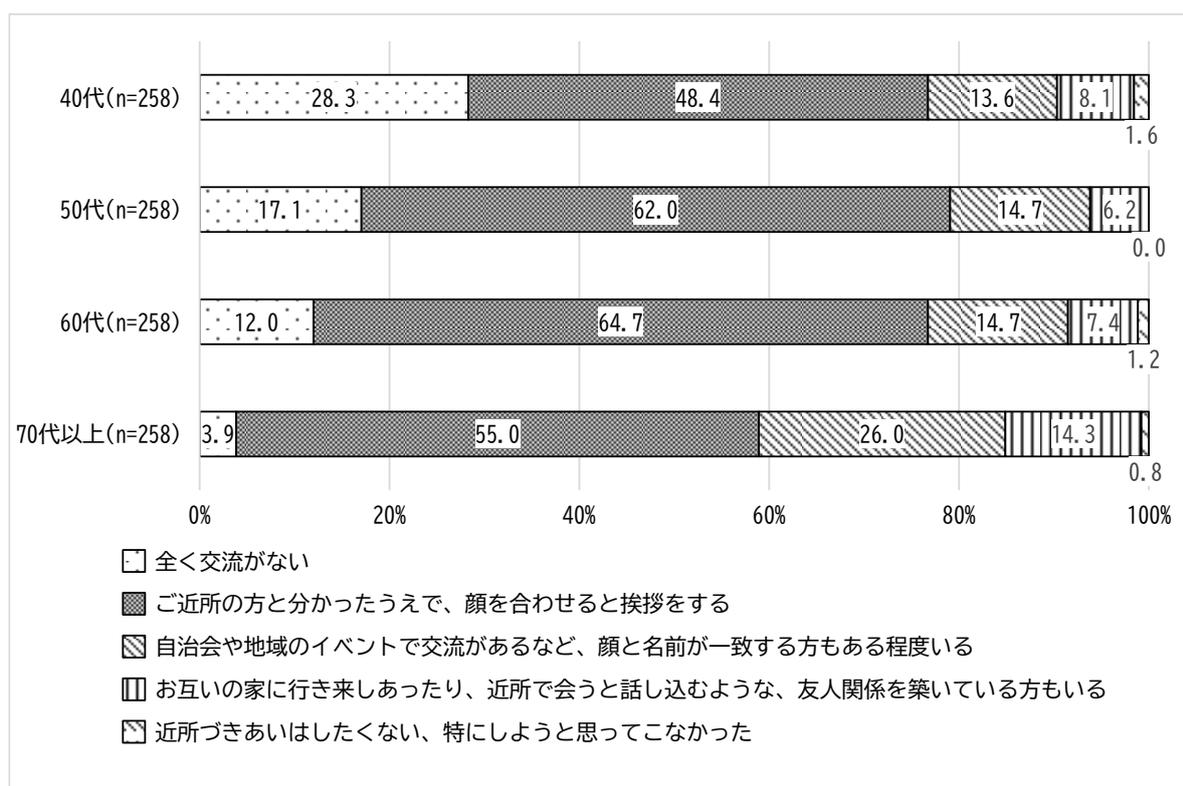
図表 14. 男女別 月回以上連絡を取る友人・知人の有無：単数回答

		全体	いない	1~2人	3~5人	6~9人	10人以上
40代	男性	(129)	n 47 %	46 35.7	26 20.2	5 3.9	5 3.9
	女性	(129)	n 38 %	54 41.9	25 19.4	6 4.7	6 4.7
50代	男性	(129)	n 52 %	39 30.2	29 22.5	5 3.9	4 3.1
	女性	(129)	n 30 %	54 41.9	34 26.4	4 3.1	7 5.4
60代	男性	(129)	n 53 %	46 35.7	19 14.7	7 5.4	4 3.1
	女性	(129)	n 25 %	56 43.4	33 25.6	8 6.2	7 5.4
70代以上	男性	(129)	n 43 %	42 32.6	35 27.1	5 3.9	4 3.1
	女性	(129)	n 22 %	43 33.3	47 36.4	7 5.4	10 7.8

2.1.12 近所付き合いについて

近所付き合いの状況についてみると、いずれの年代でも「ご近所の方と分かったうえで、顔を合わせると挨拶をする」と回答した割合が最も高かった。年代別の特徴をみると、40 代では「全く交流がない」との回答が他の年代に比べて高く 3 割強にのぼった。一方、70 代以上では「自治会や地域のイベントで交流があるなど、顔と名前が一致する方もある程度いる」が 3 割弱、「お互いの家に行き来しあったり、近所で会うと話し込むような、友人関係を築いている方もいる」が 1 割 5 分など、親密な近所付き合い行っている割合が高かった。

図表 15. 近所付き合いの状況：単数回答



〈年代・男女別〉

近所づきあいの状況を年代ごとに男女別で見ると、女性の方が近所と親密な関係を築いている傾向にあった。いずれの年代においても、男性では女性よりも近所と「まったく交流がない」と回答した割合が高かった。また、友人関係を築いている方がいると回答した割合は70代の女性では2割にのぼったが、男性では1割弱と低かった。一方で、「自治会や地域のイベントで交流があるなど、顔と名前が一致する方もある程度ある」については、女性に比べて男性の割合が高かった。

図表 16. 男女別 近所付き合いの状況：単数回答

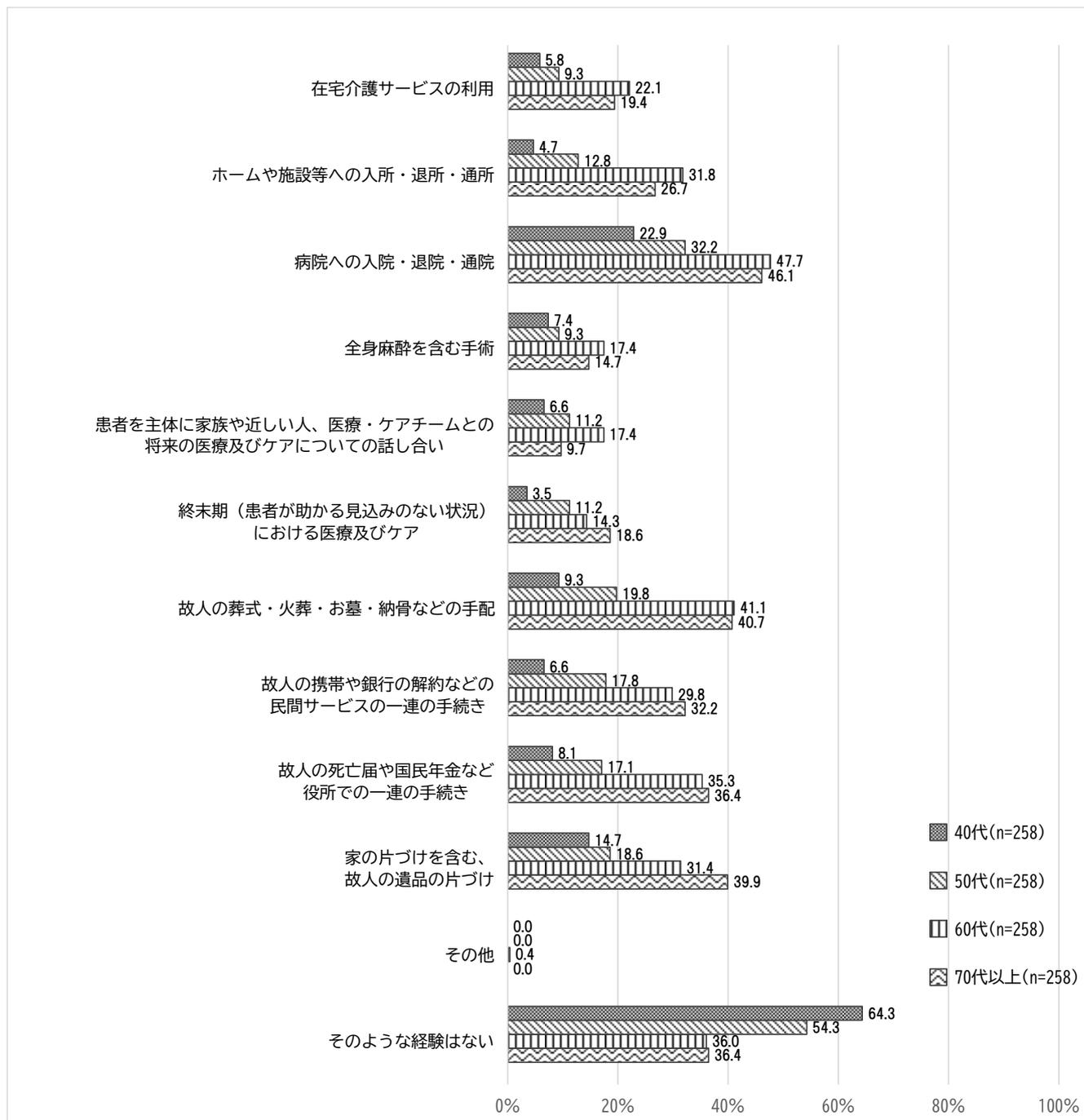
		全体	全く交流がない	ご近所の方と分かったうえで、顔を合わせると挨拶をする	自治会や地域のイベントで交流があるなど、顔と名前が一致する方もある程度いる	お互いの家に行き来しあったり、近所で会うと話し込むような、友人関係を築いている方もいる	近所づきあいはいはしたくない、特にしようと思ってこなかった
40代	男性	(129)	n 40 31.0	63 48.8	19 14.7	5 3.9	2 1.6
	女性	(129)	n 33 25.6	62 48.1	16 12.4	16 12.4	2 1.6
50代	男性	(129)	n 27 20.9	73 56.6	22 17.1	7 5.4	0 0.0
	女性	(129)	n 17 13.2	87 67.4	16 12.4	9 7.0	0 0.0
60代	男性	(129)	n 17 13.2	79 61.2	25 19.4	5 3.9	3 2.3
	女性	(129)	n 14 10.9	88 68.2	13 10.1	14 10.9	0 0.0
70代以上	男性	(129)	n 8 6.2	74 57.4	35 27.1	11 8.5	1 0.8
	女性	(129)	n 2 1.6	68 52.7	32 24.8	26 20.2	1 0.8

2.2 身じまいについての備え

2.2.1 高齢の家族・親族への支援経験の有無

高齢の家族や親族のためにどのような支援を行ったことがあるかを尋ねると、40代、50代では「そのような経験はない」と回答した割合が高く40代で6割強、50代で5割強であった。一方、60代、70代以上では、「そのような経験はない」は4割弱にとどまり、「病院への入院・退院・通院」が5割弱、「個人の葬式・火葬・お墓・納骨などの手配」が4割強と高くなっていた。

図表 17. 家族・親族のために行ったことがある支援：複数回答



〈男女別〉

家族や親族のために行ったことがある支援を男女別にみると、全体的には男性の方が経験したと回答する割合が低くなっているが、お葬式の手配や、携帯や銀行の解約などの民間サービスの手続き、公的な手続きなどは、男女同程度になっている。また、医療や介護に関わる支援や、遺品の片づけは、女性の方が経験した割合が高い傾向にあった。

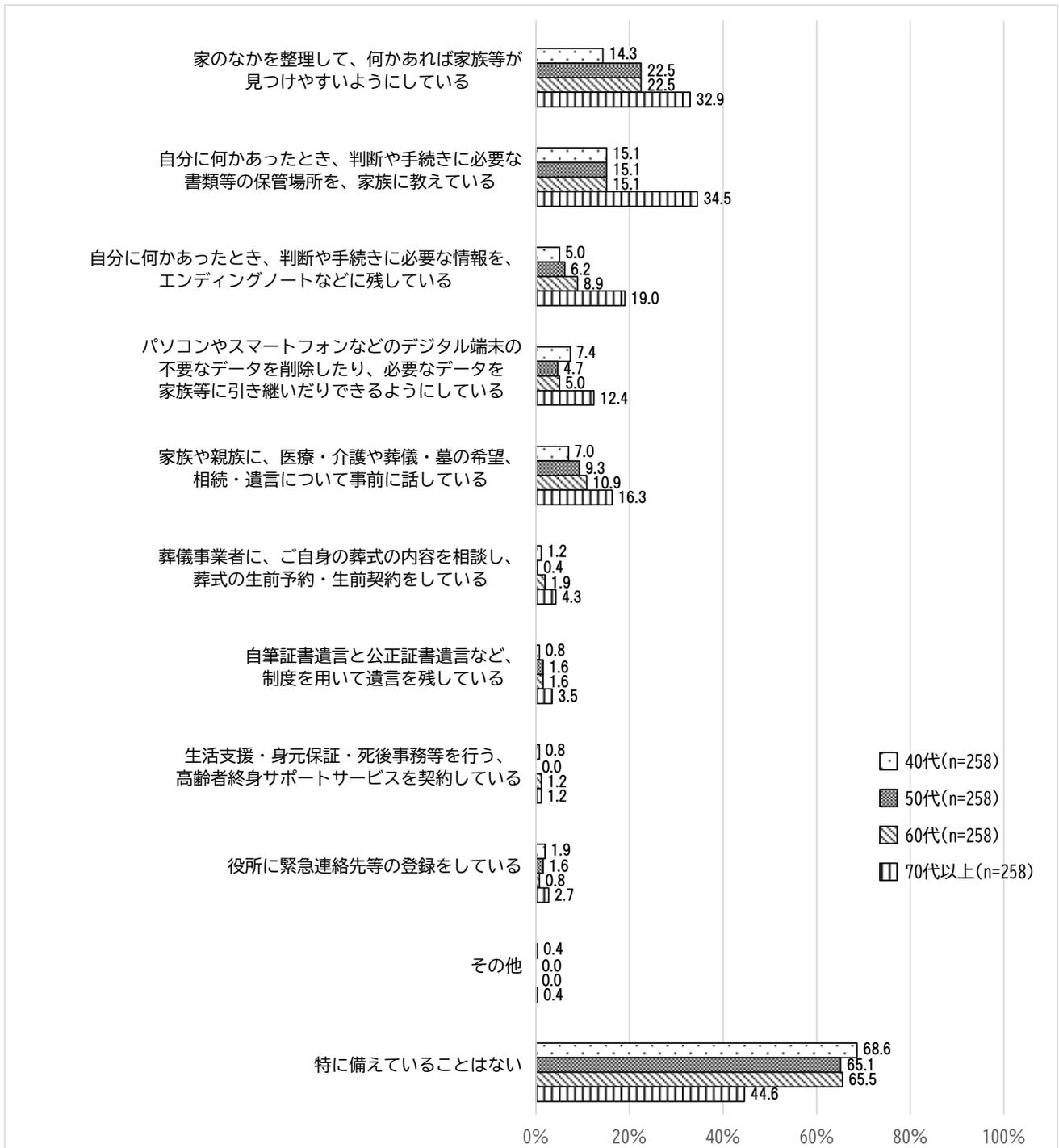
図表 18. 男女別 家族・親族のために行ったことがある支援：複数回答

		全体		在宅介護サービスの利用	ホームや施設等への入所・退所・通所	病院への入院・退院・通院	全身麻酔を含む手術	患者を主体に家族や近しい人、医療・ケアチームとの将来の医療及びケアについての話し合い	終末期（患者が助かる見込みのない状況）における医療及びケア	故人の葬式・火葬・お墓・納骨などの手配
性別	男性	(516)	n	58	82	167	43	43	51	142
			%	11.2	15.9	32.4	8.3	8.3	9.9	27.5
性別	女性	(516)	n	88	114	217	83	73	72	144
			%	17.1	22.1	42.1	16.1	14.1	14.0	27.9
		全体		故人の携帯や銀行の解約などの民間サービスの一連の手続き	故人の死亡届や国民年金など役所での一連の手続き	家の片づけを含む、故人の遺品の片づけ	その他	そのような経験はない		
性別	男性	(516)	n	107	126	108	0	266		
			%	20.7	24.4	20.9	0.0	51.6		
性別	女性	(516)	n	116	124	162	1	227		
			%	22.5	24.0	31.4	0.2	44.0		

2.2.2 高齢期の身じまいについて備えていること

高齢期の身じまいについて備えていることを尋ねると、40代～60代では、6割5分～7割弱が「特に備えていることはない」と回答し、最も割合が高かった。70代以上においても「特に備えていることはない」と回答した割合が最も高く4割5分であったが、一方で、「自分に何かあったとき、判断や手続きに必要な書類等の保管場所を、家族に教えている」が3割5分、「家のなかを整理して、何かあれば家族等が見つけやすいようにしている」が3割強と、備えをしている者も一定数みられた。

図表 19. 身じまいについて備えていること：複数回答



〈男女別〉

身じまいについて備えていることを男女別に見ると、女性の方が何らかの身じまいに取り組んでいる割合が高く、「特に備えていることはない」については男性の割合が7割弱であったところ、女性では5割強にとどまった。パソコンやスマートフォンなど、デジタル端末のデータ整理については比較的男女同数に近かった。

図表 20. 男女別 身じまいについて備えていること：複数回答

		全体		家のなかを整理して、何かあれば家族等が見つけやすいようにしている	自分に何かあったとき、判断や手続きに必要な書類等の保管場所を、家族に教えている	自分に何かあったとき、判断や手続きに必要な情報を、エンディングノートなどに残している	パソコンやスマートフォンなどのデジタル端末の不要なデータを削除したり、必要なデータを家族等に引き継いだりできているようにしている	家族や親族に、医療・介護や葬儀・墓の希望、相続・遺言について事前に話している	葬儀業者に、ご自身の葬式の内容を相談し、葬式の生前予約・生前契約をしている
性別	男性	(516)	n %	92 17.8	81 15.7	39 7.6	39 7.6	42 8.1	7 1.4
	女性	(516)	n %	146 28.3	125 24.2	62 12.0	37 7.2	70 13.6	13 2.5
		全体		自筆証書遺言と公正証書遺言など、制度を用いて遺言を残している	生活支援・身元保証・死後事務等を行う、高齢者終身サポートサービスを契約している	役所に緊急連絡先等の登録をしている	その他【 】	特に備えていることはない	
性別	男性	(516)	n %	9 1.7	6 1.2	11 2.1	0 0.0	355 68.8	
	女性	(516)	n %	10 1.9	2 0.4	7 1.4	2 0.4	274 53.1	

〈別居家族等への連絡頻度別〉

別居家族との連絡頻度別に身じまいへの取り組みを比較すると、年に1回～数回であっても家族と実際に連絡を取っている層と、全く取っていない（取ろうと思えば取れる場合も含む）層では、連絡を取っている層の方が何らかの身じまいに取り組んでいる割合が高い傾向にあった。また、家族と連絡を取っている層の中では、男性の場合には連絡頻度が高い方が身じまいに取り組んでいる傾向が高かったが、女性の場合には連絡頻度によって取り組み方に大きな差はなかった。

図表 21. 家族等への連絡頻度別 身じまいについて備えていること：複数回答

	全体		家のなかを整理して、何かあれば家族等が見つけやすいようにしている	自分に何かあったとき、判断や手続きに必要な書類等の保管場所を、家族に教えている	自分に何かあったとき、判断や手続きに必要な情報を、エンディングノートなどに残している	パソコンやスマートフォンなどのデジタル端末の不要なデータを削除したり、必要なデータを家族等に引き継いだりできるようにしている	家族や親族に、医療・介護や葬儀・墓の希望、相続・遺言について事前に話している	葬儀業者に、ご自身の葬式の内容を相談し、葬式の生前予約・生前契約をしている
男性	(516)	n	92	81	39	39	42	7
		%	17.8	15.7	7.6	7.6	8.1	1.4
週1回以上連絡を取っている	(157)	n	43	30	20	13	13	3
		%	27.4	19.1	12.7	8.3	8.3	1.9
月1回以上週1回未満連絡を取っている	(140)	n	22	21	10	13	16	2
		%	15.7	15.0	7.1	9.3	11.4	1.4
年に1回～年数回連絡を取っている	(128)	n	21	25	7	9	13	2
		%	16.4	19.5	5.5	7.0	10.2	1.6
連絡は取っていないが連絡を取れる状態にある	(60)	n	4	4	2	3	0	0
		%	6.7	6.7	3.3	5.0	0.0	0.0
連絡が取れない（連絡先が分からない場合）	(10)	n	1	0	0	0	0	0
		%	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
連絡を取りたくない（連絡先が分からない場合、分かる場合ともに）	(21)	n	1	1	0	1	0	0
		%	4.8	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0
女性	(516)	n	146	125	62	37	70	13
		%	28.3	24.2	12.0	7.2	13.6	2.5
週1回以上連絡を取っている	(209)	n	69	57	21	14	32	6
		%	33.0	27.3	10.0	6.7	15.3	2.9
月1回以上週1回未満連絡を取っている	(162)	n	43	39	25	14	15	5
		%	26.5	24.1	15.4	8.6	9.3	3.1
年に1回～年数回連絡を取っている	(87)	n	26	16	13	6	15	2
		%	29.9	18.4	14.9	6.9	17.2	2.3
連絡は取っていないが連絡を取れる状態にある（住所・電話番号・メール連絡が取れない（連絡先が分からない場合）	(38)	n	5	7	2	1	5	0
		%	13.2	18.4	5.3	2.6	13.2	0.0
連絡を取りたくない（連絡先が分からない場合、分かる場合ともに）	(16)	n	2	4	1	1	2	0
		%	12.5	25.0	6.3	6.3	12.5	0.0
	全体		自筆証書遺言と公正証書遺言など、制度を用いて遺言を残している	生活支援・身元保証・死後事務等を行う、高齢者終身サポートサービスを契約している	役所に緊急連絡先等の登録をしている	その他	特に備えていることはない	
男性	(516)	n	9	6	11	0	355	
		%	1.7	1.2	2.1	0.0	68.8	
週1回以上連絡を取っている	(157)	n	4	2	4	0	87	
		%	2.5	1.3	2.5	0.0	55.4	
月1回以上週1回未満連絡を取っている	(140)	n	3	1	4	0	98	
		%	2.1	0.7	2.9	0.0	70.0	
年に1回～年数回連絡を取っている	(128)	n	0	1	1	0	91	
		%	0.0	0.8	0.8	0.0	71.1	
連絡は取っていないが連絡を取れる状態にある	(60)	n	1	1	2	0	51	
		%	1.7	1.7	3.3	0.0	85.0	
連絡が取れない（連絡先が分からない場合）	(10)	n	0	1	0	0	9	
		%	0.0	10.0	0.0	0.0	90.0	
連絡を取りたくない（連絡先が分からない場合、分かる場合ともに）	(21)	n	1	0	0	0	19	
		%	4.8	0.0	0.0	0.0	90.5	
女性	(516)	n	10	2	7	2	274	
		%	1.9	0.4	1.4	0.4	53.1	
週1回以上連絡を取っている	(209)	n	4	0	3	2	102	
		%	1.9	0.0	1.4	1.0	48.8	
月1回以上週1回未満連絡を取っている	(162)	n	2	1	3	0	88	
		%	1.2	0.6	1.9	0.0	54.3	
年に1回～年数回連絡を取っている	(87)	n	3	1	0	0	46	
		%	3.4	1.1	0.0	0.0	52.9	
連絡は取っていないが連絡を取れる状態にある（住所・電話番号・メール連絡が取れない（連絡先が分からない場合）	(38)	n	0	0	0	0	27	
		%	0.0	0.0	0.0	0.0	71.1	
連絡を取りたくない（連絡先が分からない場合、分かる場合ともに）	(16)	n	1	0	0	0	10	
		%	6.3	0.0	0.0	0.0	62.5	

〈人づきあいの状況：月1回以上連絡をとる友人・知人の有無別〉

身じまいへの備えについて、月1回以上連絡をとる友人・知人の有無別にみると、男性、女性いずれにおいても、月1回以上連絡を取る友人・知人がいると回答した層は何らかの身じまいに取り組んでいる傾向にあった。

図表 22. 月1回以上連絡をとる友人・知人の有無別
身じまいについて備えていること：複数回答

		全体	家のなかを整理して、何かあれば家族等が見つけやすいようにしている	自分に何かあったとき、判断や手続きに必要な書類等の保管場所を、家族に教えている	自分に何かあったとき、判断や手続きに必要な情報を、エンディングノートなどに残している	パソコンやスマートフォンなどのデジタル端末の不要なデータを削除したり、必要なデータを家族等に引き継いだりしている	家族や親族に、医療・介護や葬儀・墓の希望、相続・遺言について事前に話している	葬儀事業者にご自身の葬式の内容を相談し、葬式の生前予約・生前契約をしている	
性別× 月1回以上連絡を取る友人・知人の人数	男性	(516)	n 92 17.8	n 81 15.7	n 39 7.6	n 39 7.6	n 42 8.1	n 7 1.4	
		いない	(195)	n 20 10.3	n 17 8.7	n 8 4.1	n 11 5.6	n 13 6.7	n 1 0.5
		1~2人	(173)	n 36 20.8	n 26 15.0	n 16 9.2	n 6 3.5	n 11 6.4	n 2 1.2
		3~5人	(109)	n 25 22.9	n 24 22.0	n 9 8.3	n 15 13.8	n 13 11.9	n 2 1.8
		6~9人	(22)	n 6 27.3	n 7 31.8	n 3 13.6	n 3 13.6	n 4 18.2	n 1 4.5
		10人以上	(17)	n 5 29.4	n 7 41.2	n 3 17.6	n 4 23.5	n 1 5.9	n 1 5.9
		女性	(516)	n 146 28.3	n 125 24.2	n 62 12.0	n 37 7.2	n 70 13.6	n 13 2.5
	いない	(115)	n 22 19.1	n 24 20.9	n 13 11.3	n 6 5.2	n 16 13.9	n 3 2.6	
	1~2人	(207)	n 65 31.4	n 49 23.7	n 24 11.6	n 16 7.7	n 28 13.5	n 5 2.4	
	3~5人	(139)	n 44 31.7	n 34 24.5	n 18 12.9	n 14 10.1	n 15 10.8	n 5 3.6	
	6~9人	(25)	n 8 32.0	n 9 36.0	n 2 8.0	n 0 0.0	n 5 20.0	n 0 0.0	
	10人以上	(30)	n 7 23.3	n 9 30.0	n 5 16.7	n 1 3.3	n 6 20.0	n 0 0.0	
			全体	自筆証書遺言と公正証書遺言など、制度を用いて遺言を残している	生活支援・身元保証・死後事務等を行う、高齢者終身サポートサービスを契約している	役所に緊急連絡先等の登録をしている	その他	特に備えていることはない	
	性別× 月1回以上連絡を取る友人・知人の人数	男性	(516)	n 9 1.7	n 6 1.2	n 11 2.1	n 0 0.0	n 355 68.8	
いない			(195)	n 4 2.1	n 1 0.5	n 5 2.6	n 0 0.0	n 154 79.0	
1~2人			(173)	n 1 0.6	n 3 1.7	n 1 0.6	n 0 0.0	n 119 68.8	
3~5人			(109)	n 3 2.8	n 1 0.9	n 4 3.7	n 0 0.0	n 64 58.7	
6~9人			(22)	n 0 0.0	n 0 0.0	n 0 0.0	n 0 0.0	n 11 50.0	
10人以上			(17)	n 1 5.9	n 1 5.9	n 1 5.9	n 0 0.0	n 7 41.2	
女性			(516)	n 10 1.9	n 2 0.4	n 7 1.4	n 2 0.4	n 274 53.1	
いない		(115)	n 4 3.5	n 1 0.9	n 1 0.9	n 0 0.0	n 72 62.6		
1~2人		(207)	n 5 2.4	n 0 0.0	n 2 1.0	n 1 0.5	n 101 48.8		
3~5人		(139)	n 1 0.7	n 1 0.7	n 4 2.9	n 0 0.0	n 75 54.0		
6~9人		(25)	n 0 0.0	n 0 0.0	n 0 0.0	n 0 0.0	n 11 44.0		
10人以上		(30)	n 0 0.0	n 0 0.0	n 0 0.0	n 1 3.3	n 15 50.0		

〈人づきあいの状況：近所づきあいの状況別〉

身じまいへの備えについて近所づきあいの状況別に見ると、男女ともに「全く人付き合いがない」層において、身じまいに取り組んでいる割合が低く、特に男性において顕著であった。また、顔と名前が一致する方がいたり、友人関係を気づいていると回答した層では、男女問わず身じまいに取り組んでいる傾向がみられた。

図表 23. 近所付き合いの状況別 身じまいについて備えていること：複数回答

		全体	家のなかを整理して、何かあれば家族等が見つけやすいようにしている	自分に何かあったとき、判断や手続きに必要な書類等の保管場所を、家族に教えている	自分に何かあったとき、判断や手続きに必要な情報を、エンディングノートなどに残している	パソコンやスマートフォンなどのデジタル端末の不要なデータを削除したり、必要なデータを家族等に引き継いだりできるようにしている	家族や親族に、医療・介護や葬儀・墓の希望、相続・遺言について事前に話している	葬儀業者に、ご自身の葬式の内容を相談し、葬式の生前予約・生前契約をしている	
性別 x 近所付き合いの状況	男性	(516)	n 92 % 17.8	n 81 % 15.7	n 39 % 7.6	n 39 % 7.6	n 42 % 8.1	n 7 % 1.4	
		全く交流がない	(92)	n 11 % 12.0	n 3 % 3.3	n 3 % 3.3	n 3 % 3.3	n 2 % 2.2	n 0 % 0.0
		ご近所の方と分かったうえで、顔を合わせると挨拶をする	(289)	n 50 % 17.3	n 41 % 14.2	n 19 % 6.6	n 18 % 6.2	n 19 % 6.6	n 2 % 0.7
		自治会や地域のイベントで交流があるなど、顔と名前が一致する方もある程度いる	(101)	n 22 % 21.8	n 24 % 23.8	n 11 % 10.9	n 14 % 13.9	n 13 % 12.9	n 3 % 3.0
		お互いの家に行き来しあったり、近所で会うと話し込むような、友人関係を築いている方もいる	(28)	n 8 % 28.6	n 12 % 42.9	n 6 % 21.4	n 3 % 10.7	n 7 % 25.0	n 2 % 7.1
		近所付き合いはしたくない、特にしようと思っ てこなかった	(6)	n 1 % 16.7	n 1 % 16.7	n 0 % 0.0	n 1 % 16.7	n 1 % 16.7	n 0 % 0.0
		女性	(516)	n 146 % 28.3	n 125 % 24.2	n 62 % 12.0	n 37 % 7.2	n 70 % 13.6	n 13 % 2.5
	全く交流がない	(66)	n 16 % 24.2	n 10 % 15.2	n 5 % 7.6	n 4 % 6.1	n 5 % 7.6	n 2 % 3.0	
	ご近所の方と分かったうえで、顔を合わせると挨拶をする	(305)	n 86 % 28.2	n 70 % 23.0	n 29 % 9.5	n 23 % 7.5	n 39 % 12.8	n 4 % 1.3	
	自治会や地域のイベントで交流があるなど、顔と名前が一致する方もある程度いる	(77)	n 24 % 31.2	n 24 % 31.2	n 14 % 18.2	n 6 % 7.8	n 11 % 14.3	n 3 % 3.9	
	お互いの家に行き来しあったり、近所で会うと話し込むような、友人関係を築いている方もいる	(65)	n 20 % 30.8	n 21 % 32.3	n 14 % 21.5	n 4 % 6.2	n 15 % 23.1	n 4 % 6.2	
	近所付き合いはしたくない、特にしようと思っ てこなかった	(3)	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	
	性別 x 近所付き合いの状況	男性	(516)	n 9 % 1.7	n 6 % 1.2	n 11 % 2.1	n 0 % 0.0	n 355 % 68.8	n 7 % 1.4
	全く交流がない	(92)	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	n 1 % 1.1	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	n 76 % 82.6	n 0 % 0.0
ご近所の方と分かったうえで、顔を合わせると挨拶をする	(289)	n 5 % 1.7	n 2 % 0.7	n 6 % 2.1	n 0 % 0.0	n 204 % 70.6	n 0 % 0.0		
自治会や地域のイベントで交流があるなど、顔と名前が一致する方もある程度いる	(101)	n 1 % 1.0	n 3 % 3.0	n 2 % 2.0	n 0 % 0.0	n 60 % 59.4	n 0 % 0.0		
お互いの家に行き来しあったり、近所で会うと話し込むような、友人関係を築いている方もいる	(28)	n 3 % 10.7	n 1 % 3.6	n 2 % 7.1	n 0 % 0.0	n 10 % 35.7	n 0 % 0.0		
近所付き合いはしたくない、特にしようと思っ てこなかった	(6)	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	n 5 % 83.3	n 0 % 0.0		
女性	(516)	n 10 % 1.9	n 2 % 0.4	n 7 % 1.4	n 2 % 0.4	n 274 % 53.1	n 0 % 0.0		
全く交流がない	(66)	n 2 % 3.0	n 1 % 1.5	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	n 43 % 65.2	n 0 % 0.0		
ご近所の方と分かったうえで、顔を合わせると挨拶をする	(305)	n 3 % 1.0	n 0 % 0.0	n 4 % 1.3	n 0 % 0.0	n 167 % 54.8	n 0 % 0.0		
自治会や地域のイベントで交流があるなど、顔と名前が一致する方もある程度いる	(77)	n 3 % 3.9	n 0 % 0.0	n 1 % 1.3	n 1 % 1.3	n 34 % 44.2	n 0 % 0.0		
お互いの家に行き来しあったり、近所で会うと話し込むような、友人関係を築いている方もいる	(65)	n 2 % 3.1	n 1 % 1.5	n 2 % 3.1	n 1 % 1.5	n 27 % 41.5	n 0 % 0.0		
近所付き合いはしたくない、特にしようと思っ てこなかった	(3)	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	n 0 % 0.0	n 3 % 100.0	n 0 % 0.0		

〈高齢の家族や親族への支援経験の有無別〉

高齢の家族や親族への支援経験の有無別に身じまいへの取り組みを見ると、支援経験がない人とある人では、「家の中を整理して、何かあれば家族等が見つけやすいようにしている」「必要な書類等の保管場所を家族に教えている」「エンディングノートを作成している」「デジタル端末のデータを整理している」「家族や親族に、医療・介護や葬式等の希望、相続・遺言について事前に話している」の5項目において、支援経験がある人の方が取り組んでいる割合が顕著に多かった。また、高齢家族等への支援経験がない層では、身じまいについて特に備えていることはないと回答した割合が7割5分を占めた。

図表 24. 支援経験の有無別 身じまいについて備えていること：複数回答

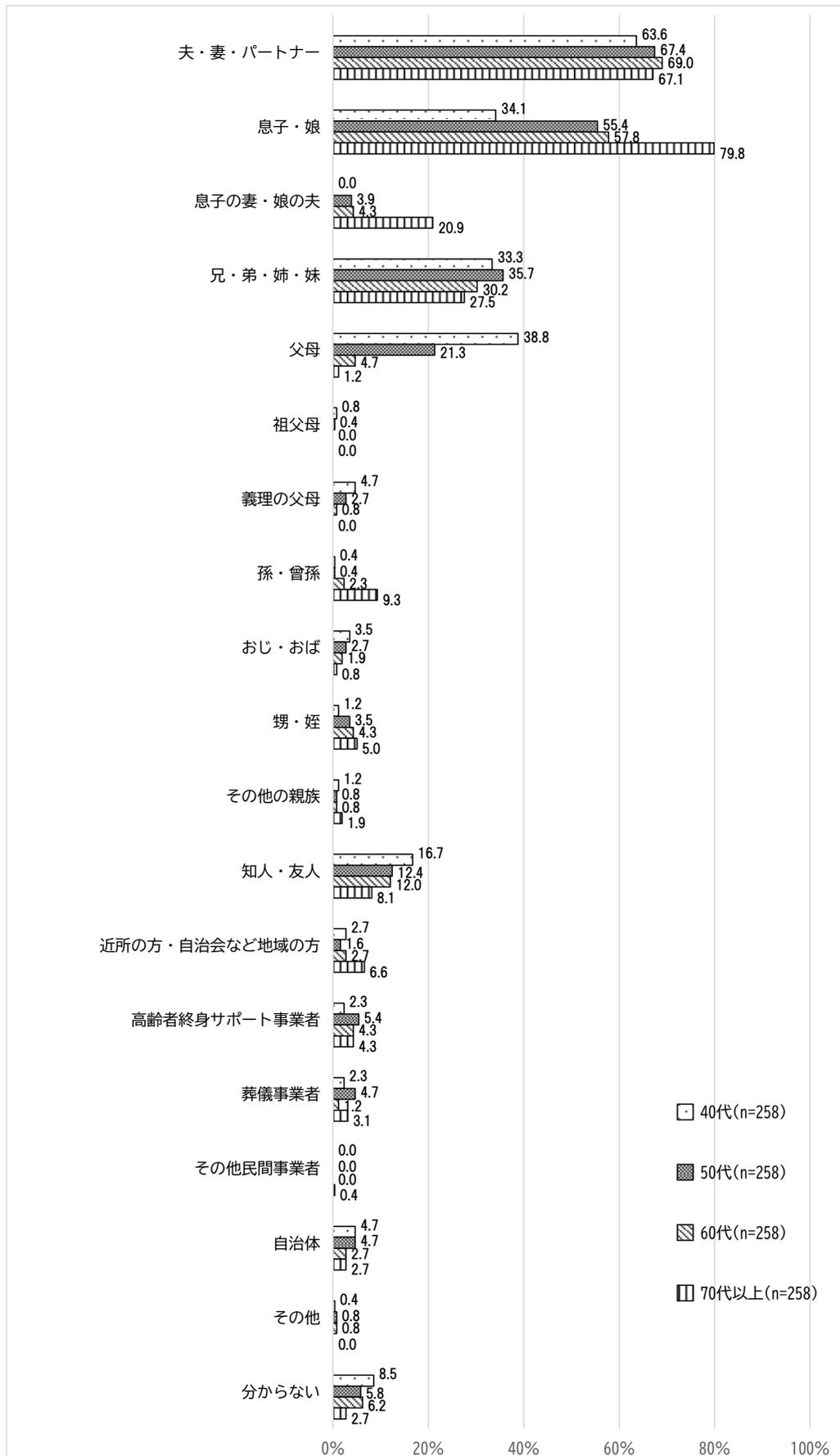
	全体		家のなかを整理して、何かあれば家族等が見つけやすいようにしている	自分に何かあったとき、判断や手続きに必要な書類等の保管場所を、家族に教えている	自分に何かあったとき、判断や手続きに必要な情報を、エンディングノートなどに残している	パソコンやスマートフォンなどのデジタル端末の不要なデータを削除したり、必要なデータを家族等に引き継いだりできるようにしている	家族や親族に、医療・介護や葬儀・墓の希望、相続・遺言について事前に話している	葬儀業者に、ご自身の葬式の内容を相談し、葬式の生前予約・生前契約をしている
在宅介護サービスの利用	(146)	n %	50 34.2	46 31.5	20 13.7	22 15.1	32 21.9	1 0.7
ホームや施設等への入所・退所・通所	(196)	n %	68 34.7	66 33.7	31 15.8	30 15.3	45 23.0	4 2.0
病院への入院・退院・通院	(384)	n %	129 33.6	117 30.5	61 15.9	48 12.5	77 20.1	12 3.1
全身麻酔を含む手術	(126)	n %	46 36.5	42 33.3	21 16.7	20 15.9	36 28.6	2 1.6
患者を主体に家族や近い人、医療・ケアチームとの将来の医療及びケアについての話し合い	(116)	n %	45 38.8	43 37.1	18 15.5	25 21.6	30 25.9	4 3.4
終末期（患者が助かる見込みのない状況）における医療及びケア	(123)	n %	54 43.9	51 41.5	30 24.4	21 17.1	35 28.5	5 4.1
故人の葬式・火葬・お墓・納骨などの手配	(286)	n %	95 33.2	88 30.8	51 17.8	35 12.2	57 19.9	7 2.4
故人の携帯や銀行の解約などの民間サービスの一連の手続き	(223)	n %	73 32.7	71 31.8	42 18.8	34 15.2	48 21.5	9 4.0
故人の死亡届や国民年金など役所での一連の手続き	(250)	n %	74 29.6	78 31.2	44 17.6	34 13.6	49 19.6	9 3.6
家の片づけを含む、故人の遺品の片づけ	(270)	n %	91 33.7	87 32.2	51 18.9	32 11.9	58 21.5	9 3.3
その他	(1)	n %	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
そのような経験はない	(493)	n %	68 13.8	52 10.5	27 5.5	12 2.4	20 4.1	4 0.8
	全体					その他	特に備えていることはない	
在宅介護サービスの利用	(146)	n %	3 2.1	1 0.7	4 2.7	0 0.0	72 49.3	
ホームや施設等への入所・退所・通所	(196)	n %	6 3.1	3 1.5	5 2.6	0 0.0	83 42.3	
病院への入院・退院・通院	(384)	n %	9 2.3	4 1.0	9 2.3	1 0.3	174 45.3	
全身麻酔を含む手術	(126)	n %	5 4.0	2 1.6	3 2.4	0 0.0	49 38.9	
患者を主体に家族や近い人、医療・ケアチームとの将来の医療及びケアについての話し合い	(116)	n %	2 1.7	2 1.7	4 3.4	1 0.9	42 36.2	
終末期（患者が助かる見込みのない状況）における医療及びケア	(123)	n %	3 2.4	0 0.0	5 4.1	0 0.0	40 32.5	
故人の葬式・火葬・お墓・納骨などの手配	(286)	n %	9 3.1	3 1.0	4 1.4	1 0.3	134 46.9	
故人の携帯や銀行の解約などの民間サービスの一連の手続き	(223)	n %	6 2.7	3 1.3	4 1.8	1 0.4	102 45.7	
故人の死亡届や国民年金など役所での一連の手続き	(250)	n %	7 2.8	2 0.8	4 1.6	1 0.4	123 49.2	
家の片づけを含む、故人の遺品の片づけ	(270)	n %	8 3.0	2 0.7	5 1.9	1 0.4	121 44.8	
その他	(1)	n %	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
そのような経験はない	(493)	n %	8 1.6	4 0.8	6 1.2	0 0.0	374 75.9	

2.3 万が一のときに頼りたい相手・実際に頼る相手

2.3.1 万が一のときに頼りたい相手（希望）

万が一のときに頼りたい相手について、最大5つまで尋ねた。40代～60代では、「夫・妻・パートナー」と回答した割合が最も高く6割強～7割、70代以上においては「息子・娘」の割合が8割弱で最も高かった。また、40代においては「父母」の割合が4割弱と他の年代に比べて高くなっていた。

図表 25. 万が一の時に頼りたい相手の希望：複数回答（最大5つ）



〈未既婚別〉

万が一の時に頼りたい相手を未既婚別に見ると、既婚者の場合は9割程度の人が、子の配偶者や自身の配偶者を頼りたい相手として選択していた。離別・死別の場合は7割強の人が子・子の配偶者を頼りたいとしていた。また、未婚の場合は、兄弟姉妹や父母、知人・友人といった回答も多かったが、「分からない」と回答したのも2割強で多かった。

図表 26. 未既婚別 万が一の時に頼りたい相手の希望：複数回答（最大5つ）

	全体		配偶者・パートナー	子・子の配偶者	兄弟姉妹	父母	その他親族	知人・友人
既婚・事実婚・内縁	(737)	n %	669 90.8	711 96.5	203 27.5	99 13.4	72 9.8	58 7.9
離別・死別	(131)	n %	9 6.9	98 74.8	55 42.0	19 14.5	17 13.0	25 19.1
未婚	(164)	n %	11 6.7	12 7.3	69 42.1	52 31.7	23 14.0	44 26.8
	全体		近所の方・自治会など地域の方	民間事業者	自治体	その他	分からない	
既婚・事実婚・内縁	(737)	n %	20 2.7	50 6.8	18 2.4	0 0.0	12 1.6	
離別・死別	(131)	n %	7 5.3	8 6.1	5 3.8	0 0.0	8 6.1	
未婚	(164)	n %	8 4.9	22 13.4	15 9.1	5 3.0	40 24.4	

2.3.2 実際に頼れる相手

自身に何かあったとき頼りたいと考えている相手のうち、実際に頼れる相手を、高齢期の引っ越しや、介護サービスの利用時、医療ケアを受ける場面、死後の事務等の場面別に尋ねた。40代、50代、60代では、多く場面で「夫・妻・パートナー」と回答する割合が高く、70代以上になるといずれの場面でも「息子・娘」の割合が高かった。また、若い年代では「分からない」「頼るのは難しい」が1割から2割程度みられたが、70代以上では5%未満にとどまった。

2.3.2.1 高齢期の引っ越しの際の身元保証人

高齢期の引っ越しで身元保証人を求められた場合に、実際に頼れる相手を見ると、40代～60代までは「夫・妻・パートナー」が3割強で最も割合が高かったが、70代では「息子・娘」といった回答が増え6割弱となっていた。また、40代では「分からない」「頼るのは難しい」という回答も2割前後みられた。

図表 27. 高齢期の引越しの際の身元保証人：単数回答

	40代(n=258)		50代(n=258)		60代(n=258)		70代以上(n=258)	
	n	%	n	%	n	%	n	%
夫・妻・パートナー	86	33.3	83	32.2	90	34.9	67	26.0
息子・娘	44	17.1	67	26.0	87	33.7	145	56.2
息子の妻・娘の夫	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
兄・弟・姉・妹	16	6.2	25	9.7	21	8.1	13	5.0
父母	8	3.1	2	0.8	1	0.4	0	0.0
祖父母	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
義理の父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
孫・曾孫	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
おじ・おば	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
甥・姪	1	0.4	2	0.8	3	1.2	3	1.2
その他の親族	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.4
知人・友人	3	1.2	2	0.8	2	0.8	0	0.0
近所の方・自治会など地域の方	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0
高齢者終身サポート事業者	1	0.4	1	0.4	2	0.8	2	0.8
葬儀事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他民間事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
自治体	1	0.4	2	0.8	1	0.4	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
上記以外の人	0	0.0	2	0.8	2	0.8	3	1.2
分からない	43	16.7	33	12.8	22	8.5	12	4.7
頼るのは難しい	54	20.9	38	14.7	23	8.9	11	4.3

2.3.2.2 在宅介護サービスでの同居人以外の緊急連絡先

在宅介護サービスを受ける際に、同居人以外の緊急連絡先を求められた場合、実際に頼れる相手を見ると、40代では「夫・妻・パートナー」が3割弱で最も割合が高く、次いで「頼るのは難しい」の割合が2割強であった。一方、50代～70代以上では「息子・娘」の割合が3割強～6割弱で最も高く、「夫・妻・パートナー」が2割弱～3割弱で続いた。

図表 28. 在宅介護サービスでの同居人以外の緊急連絡先：単数回答

	40代(n=258)		50代(n=258)		60代(n=258)		70代以上(n=258)	
	n	%	n	%	n	%	n	%
夫・妻・パートナー	72	27.9	68	26.4	75	29.1	51	19.8
息子・娘	50	19.4	82	31.8	101	39.1	154	59.7
息子の妻・娘の夫	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
兄・弟・姉・妹	23	8.9	38	14.7	26	10.1	16	6.2
父母	7	2.7	2	0.8	1	0.4	0	0.0
祖父母	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0
義理の父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
孫・曾孫	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
おじ・おば	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
甥・姪	2	0.8	2	0.8	3	1.2	5	1.9
その他の親族	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.4
知人・友人	5	1.9	1	0.4	2	0.8	0	0.0
近所の方・自治会など地域の方	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
高齢者終身サポート事業者	1	0.4	1	0.4	0	0.0	2	0.8
葬儀事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他民間事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
自治体	3	1.2	2	0.8	1	0.4	1	0.4
その他	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
上記以外の人	0	0.0	4	1.6	2	0.8	4	1.6
分からない	41	15.9	29	11.2	16	6.2	12	4.7
頼るのは難しい	52	20.2	28	10.9	27	10.5	11	4.3

2.3.2.3 介護施設入所時の身元保証人

介護施設入所の際に、緊急連絡先・身元保証人・身元引受人を求められた場合、実際に頼れる相手を見ると、40代では「夫・妻・パートナー」の割合が最も高く3割強であった。50代、60代は同様の傾向で、「夫・妻・パートナー」と「息子・娘」が同程度の割合みられた。一方、70代以上では「息子・娘」の割合が6割程度で最も高く、「夫・妻・パートナー」は2割5分であった。

図表 29. 介護施設入所の身元保証人：単数回答

	40代(n=258)		50代(n=258)		60代(n=258)		70代以上(n=258)	
	n	%	n	%	n	%	n	%
夫・妻・パートナー	78	30.2	77	29.8	91	35.3	66	25.6
息子・娘	49	19.0	82	31.8	94	36.4	155	60.1
息子の妻・娘の夫	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
兄・弟・姉・妹	20	7.8	30	11.6	17	6.6	12	4.7
父母	5	1.9	1	0.4	1	0.4	0	0.0
祖父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
義理の父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
孫・曾孫	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
おじ・おば	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
甥・姪	1	0.4	2	0.8	4	1.6	4	1.6
その他の親族	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.4
知人・友人	3	1.2	1	0.4	2	0.8	1	0.4
近所の方・自治会など地域の方	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0
高齢者終身サポート事業者	1	0.4	1	0.4	2	0.8	3	1.2
葬儀事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他民間事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
自治体	2	0.8	2	0.8	1	0.4	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
上記以外の人	0	0.0	2	0.8	1	0.4	5	1.9
分からない	43	16.7	25	9.7	16	6.2	4	1.6
頼るのは難しい	55	21.3	34	13.2	26	10.1	6	2.3

2.3.2.4 高齢期の入院時の身元保証人

高齢期に入院する際に、緊急連絡先・身元保証人・身元引受人を求められた場合、実際に頼れる相手を見ると、40代～60代では「夫・妻・パートナー」の割合が3割強～4割弱で最も高かった。一方、70代以上では「息子・娘」が6割弱で最も高く、「夫・妻・パートナー」は3割強であった。

図表 30. 入院時の身元保証人：単数回答

	40代(n=258)		50代(n=258)		60代(n=258)		70代以上(n=258)	
	n	%	n	%	n	%	n	%
夫・妻・パートナー	81	31.4	89	34.5	104	40.3	81	31.4
息子・娘	51	19.8	75	29.1	86	33.3	143	55.4
息子の妻・娘の夫	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
兄・弟・姉・妹	18	7.0	28	10.9	18	7.0	11	4.3
父母	6	2.3	3	1.2	1	0.4	0	0.0
祖父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
義理の父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
孫・曾孫	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
おじ・おば	0	0.0	1	0.4	1	0.4	0	0.0
甥・姪	1	0.4	2	0.8	3	1.2	4	1.6
その他の親族	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.4
知人・友人	4	1.6	2	0.8	2	0.8	1	0.4
近所の方・自治会など地域の方	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
高齢者終身サポート事業者	1	0.4	1	0.4	1	0.4	3	1.2
葬儀事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他民間事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
自治体	1	0.4	2	0.8	1	0.4	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
上記以外の人	0	0.0	4	1.6	1	0.4	3	1.2
分からない	40	15.5	24	9.3	15	5.8	5	1.9
頼るのは難しい	55	21.3	27	10.5	22	8.5	5	1.9

2.3.2.5 高齢期の全身麻酔を含む手術への同意、身元保証人

高齢期の全身麻酔を伴う手術の際に、緊急連絡先・身元保証人・身元引受人を求められた場合、実際に頼れる相手について尋ねると、40代～60代では「夫・妻・パートナー」が3割5分～4割強で最も割合が高かった。年代が上がるにつれて「息子・娘」といった回答が増え、70代以上では「息子・娘」が5割強で最も高かった。

図表 31. 手術の同意：単数回答

	40代(n=258)		50代(n=258)		60代(n=258)		70代以上(n=258)	
	n	%	n	%	n	%	n	%
夫・妻・パートナー	90	34.9	97	37.6	107	41.5	92	35.7
息子・娘	43	16.7	68	26.4	85	32.9	133	51.6
息子の妻・娘の夫	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
兄・弟・姉・妹	19	7.4	29	11.2	18	7.0	11	4.3
父母	6	2.3	1	0.4	1	0.4	0	0.0
祖父母	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0
義理の父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
孫・曾孫	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
おじ・おば	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
甥・姪	1	0.4	2	0.8	3	1.2	3	1.2
その他の親族	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.4
知人・友人	3	1.2	3	1.2	2	0.8	1	0.4
近所の方・自治会など地域の方	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
高齢者終身サポート事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.8
葬儀事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他民間事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
自治体	1	0.4	2	0.8	1	0.4	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
上記以外の人	0	0.0	1	0.4	1	0.4	4	1.6
分からない	45	17.4	24	9.3	13	5.0	5	1.9
頼るのは難しい	50	19.4	30	11.6	23	8.9	5	1.9

2.3.2.6 将来の医療・ケアについての話し合い

自身に対する医療・ケアについて専門職を交えて話す際に、信頼できる人の同席を求められた場合に、実際に頼れる相手について尋ねると、40代～60代では「夫・妻・パートナー」が4割前後で最も割合が高かった。年代が上がるにつれて「息子・娘」といった回答が増え、70代では「息子・娘」が5割強で最も高かった。

図表 32. 医療・ケアについての話し合い：単数回答

	40代(n=258)		50代(n=258)		60代(n=258)		70代以上(n=258)	
	n	%	n	%	n	%	n	%
夫・妻・パートナー	95	36.8	101	39.1	109	42.2	93	36.0
息子・娘	37	14.3	69	26.7	83	32.2	131	50.8
息子の妻・娘の夫	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
兄・弟・姉・妹	15	5.8	25	9.7	17	6.6	11	4.3
父母	5	1.9	1	0.4	1	0.4	0	0.0
祖父母	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
義理の父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
孫・曾孫	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
おじ・おば	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
甥・姪	1	0.4	2	0.8	4	1.6	3	1.2
その他の親族	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.4
知人・友人	4	1.6	3	1.2	2	0.8	1	0.4
近所の方・自治会など地域の方	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
高齢者終身サポート事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.8
葬儀事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他民間事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
自治体	1	0.4	2	0.8	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
上記以外の人	0	0.0	2	0.8	1	0.4	2	0.8
分からない	44	17.1	24	9.3	14	5.4	7	2.7
頼るのは難しい	55	21.3	29	11.2	24	9.3	6	2.3

2.3.2.7 終末期の医療・ケアについての了承や同席

終末期（患者が助かる見込みのない状況）における医療・ケアについての了承や話し合いへの同席を求められた場合、実際に頼れる相手を見ると、40代～60代では「夫・妻・パートナー」の割合が4割前後で最も高かった。年代が上がるにつれて「息子・娘」といった回答が増え、70代以上では「息子・娘」が5割弱で最も高かった。

図表 33. 終末期ケアについての了承：単数回答

	40代(n=258)		50代(n=258)		60代(n=258)		70代以上(n=258)	
	n	%	n	%	n	%	n	%
夫・妻・パートナー	95	36.8	100	38.8	106	41.1	94	36.4
息子・娘	41	15.9	67	26.0	88	34.1	128	49.6
息子の妻・娘の夫	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
兄・弟・姉・妹	13	5.0	24	9.3	14	5.4	11	4.3
父母	7	2.7	1	0.4	1	0.4	0	0.0
祖父母	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0
義理の父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
孫・曾孫	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
おじ・おば	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
甥・姪	1	0.4	2	0.8	4	1.6	3	1.2
その他の親族	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.4
知人・友人	3	1.2	2	0.8	3	1.2	0	0.0
近所の方・自治会など地域の方	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
高齢者終身サポート事業者	0	0.0	1	0.4	0	0.0	3	1.2
葬儀事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他民間事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
自治体	1	0.4	2	0.8	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
上記以外の人	0	0.0	3	1.2	1	0.4	2	0.8
分からない	38	14.7	25	9.7	16	6.2	9	3.5
頼るのは難しい	58	22.5	30	11.6	23	8.9	5	1.9

2.3.2.8 葬儀等の手配

自身が亡くなった際の葬式・火葬・お墓・納骨などの手配について、実際に頼れる相手についてみると、40代～60代では「夫・妻・パートナー」の割合が4割強で最も高くなっていった。年代が上がるにつれて「息子・娘」といった回答が増え、70代以上では「息子・娘」が5割5分で最も高かった。

図表 34. 葬儀等の手配：単数回答

	40代(n=258)		50代(n=258)		60代(n=258)		70代以上(n=258)	
	n	%	n	%	n	%	n	%
夫・妻・パートナー	95	36.8	97	37.6	103	39.9	77	29.8
息子・娘	44	17.1	67	26.0	90	34.9	143	55.4
息子の妻・娘の夫	0	0.0	0	0.0	2	0.8	1	0.4
兄・弟・姉・妹	17	6.6	25	9.7	15	5.8	11	4.3
父母	5	1.9	1	0.4	1	0.4	0	0.0
祖父母	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
義理の父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
孫・曾孫	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
おじ・おば	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
甥・姪	1	0.4	3	1.2	5	1.9	4	1.6
その他の親族	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.4
知人・友人	2	0.8	3	1.2	2	0.8	0	0.0
近所の方・自治会など地域の方	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
高齢者終身サポート事業者	1	0.4	2	0.8	1	0.4	2	0.8
葬儀事業者	2	0.8	0	0.0	1	0.4	1	0.4
その他民間事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
自治体	0	0.0	2	0.8	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
上記以外の人	0	0.0	3	1.2	1	0.4	3	1.2
分からない	38	14.7	30	11.6	16	6.2	9	3.5
頼るのは難しい	52	20.2	25	9.7	18	7.0	5	1.9

2.3.2.9 民間サービス・役所等での手続き

携帯の解約などの民間サービスの手続きや国民年金といった役所での手続きなど、死亡後の事務的な手続きについて、実際に頼れる相手について尋ねると、40代～60代までは「夫・妻・パートナー」の割合が4割前後で最も高かった。年代が上がるにつれて「息子・娘」といった回答が増え、70代以上では「息子・娘」の割合が6割弱で最も高くなっていた。

図表 35. 死亡時の事務的手続き：単数回答

	40代(n=258)		50代(n=258)		60代(n=258)		70代以上	
	n	%	n	%	n	%	n	%
夫・妻・パートナー	97	37.6	95	36.8	104	40.3	71	27.5
息子・娘	43	16.7	69	26.7	88	34.1	150	58.1
息子の妻・娘の夫	0	0.0	1	0.4	1	0.4	0	0.0
兄・弟・姉・妹	18	7.0	23	8.9	16	6.2	9	3.5
父母	4	1.6	1	0.4	1	0.4	0	0.0
祖父母	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
義理の父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
孫・曾孫	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
おじ・おば	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
甥・姪	2	0.8	2	0.8	5	1.9	4	1.6
その他の親族	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.4
知人・友人	1	0.4	1	0.4	2	0.8	0	0.0
近所の方・自治会など地域の方	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
高齢者終身サポート事業者	1	0.4	1	0.4	1	0.4	2	0.8
葬儀事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他民間事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
自治体	0	0.0	3	1.2	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
上記以外の人	0	0.0	3	1.2	1	0.4	6	2.3
分からない	39	15.1	32	12.4	18	7.0	8	3.1
頼るのは難しい	52	20.2	27	10.5	18	7.0	6	2.3

2.3.2.10 遺品整理

遺品整理において実際に頼れる相手について尋ねると、40代～60代では「夫・妻・パートナー」が3割5分～4割弱で最も割合が高かった。年代が上がるにつれて「息子・娘」といった回答が増え、70代以上では「息子・娘」の割合が5割強で最も高くなっていた。

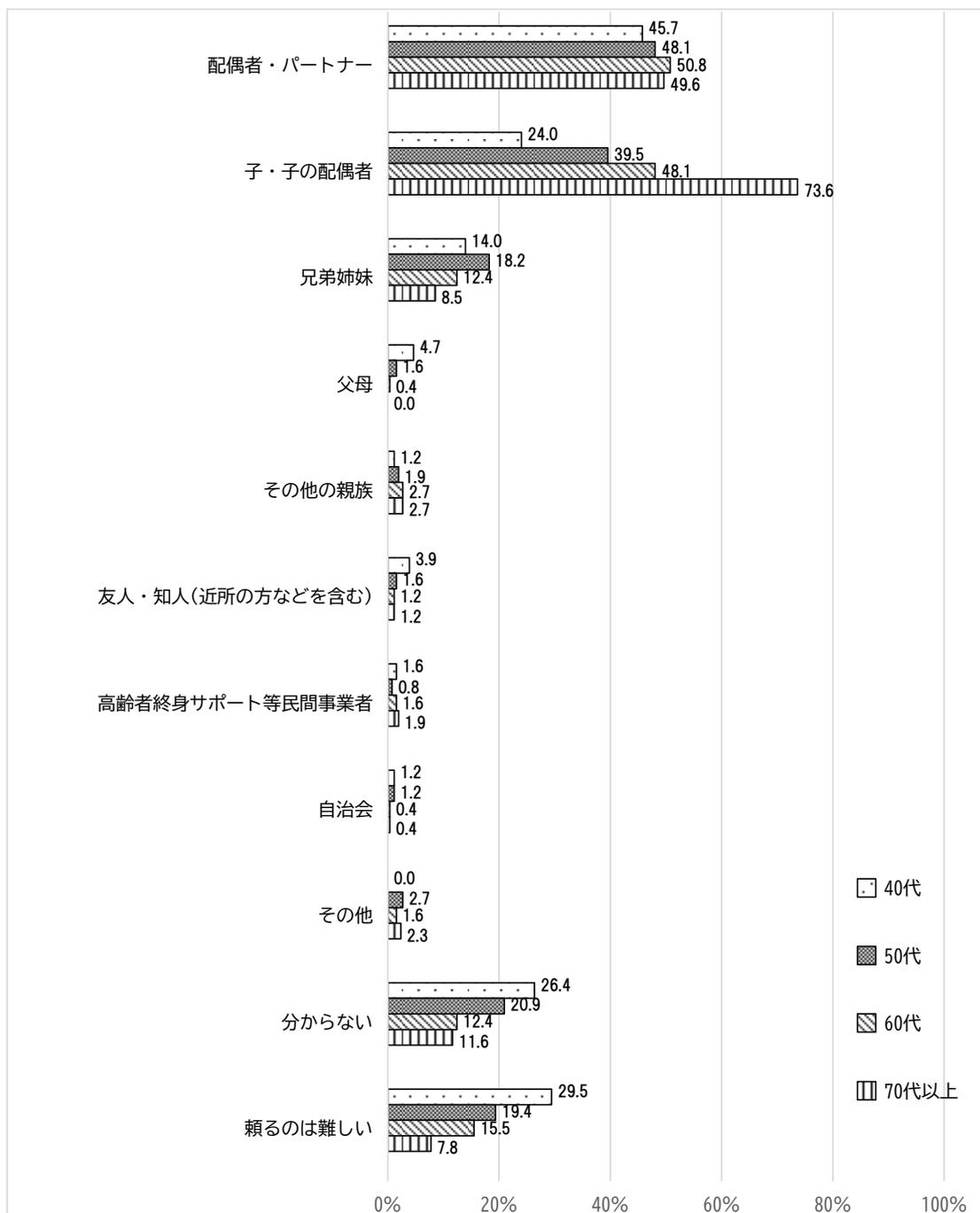
図表 36. 遺品整理：単数回答

	40代(n=258)		50代(n=258)		60代(n=258)		70代以上 (n=258)	
	n	%	n	%	n	%	n	%
夫・妻・パートナー	100	38.8	90	34.9	99	38.4	79	30.6
息子・娘	40	15.5	73	28.3	89	34.5	140	54.3
息子の妻・娘の夫	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
兄・弟・姉・妹	14	5.4	25	9.7	17	6.6	9	3.5
父母	5	1.9	1	0.4	1	0.4	0	0.0
祖父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
義理の父母	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
孫・曾孫	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
おじ・おば	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
甥・姪	2	0.8	2	0.8	5	1.9	4	1.6
その他の親族	0	0.0	0	0.0	1	0.4	1	0.4
知人・友人	2	0.8	1	0.4	2	0.8	1	0.4
近所の方・自治会など地域の方	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
高齢者終身サポート事業者	1	0.4	0	0.0	1	0.4	2	0.8
葬儀事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他民間事業者	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
自治体	0	0.0	2	0.8	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0
上記以外の人	0	0.0	2	0.8	1	0.4	4	1.6
分からない	36	14.0	33	12.8	19	7.4	9	3.5
頼るのは難しい	57	22.1	29	11.2	21	8.1	7	2.7

2.3.2.11 積み上げ集計

実際に頼れる相手について、「2.3.2.1 高齢期の引っ越しの際の身元保証人」～「2.3.2.10 遺品整理」までの回答を積み上げて集計を行ったところ、40代では、「配偶者・パートナー」がもっとも割合が高く4割5分、次いで「頼るのは難しい」、「分からない」が3割弱で続いた。50代、60代では、「配偶者・パートナー」がもっとも割合が高く5割前後、次いで「子・子の配偶者」がそれぞれ4割弱、5割弱となっていた。また、70代でもっとも割合が高いのは「子・この配偶者」で7割強、次に「配偶者・パートナー」が5割弱で続いた。

図表 37. 【積み上げ】実際に頼れる相手：複数回答



2.3.3 頼りたい相手をお願いする際の気持ち

高齢期の身じまいについて頼る相手をお願いする時の気持ちを尋ねると、若年層においては、回答にばらつきがあったが、年代が上がるにつれて、「問題なく引き受けてくれるだろう」、「家族に対応してもらいたい」、「感謝の気持ちを感じる」、「安心できる」といった回答が増加した。ただし、「不安に思うこともなく、特に考えたことはない」と回答した者も全年代を通して2割強みられた。

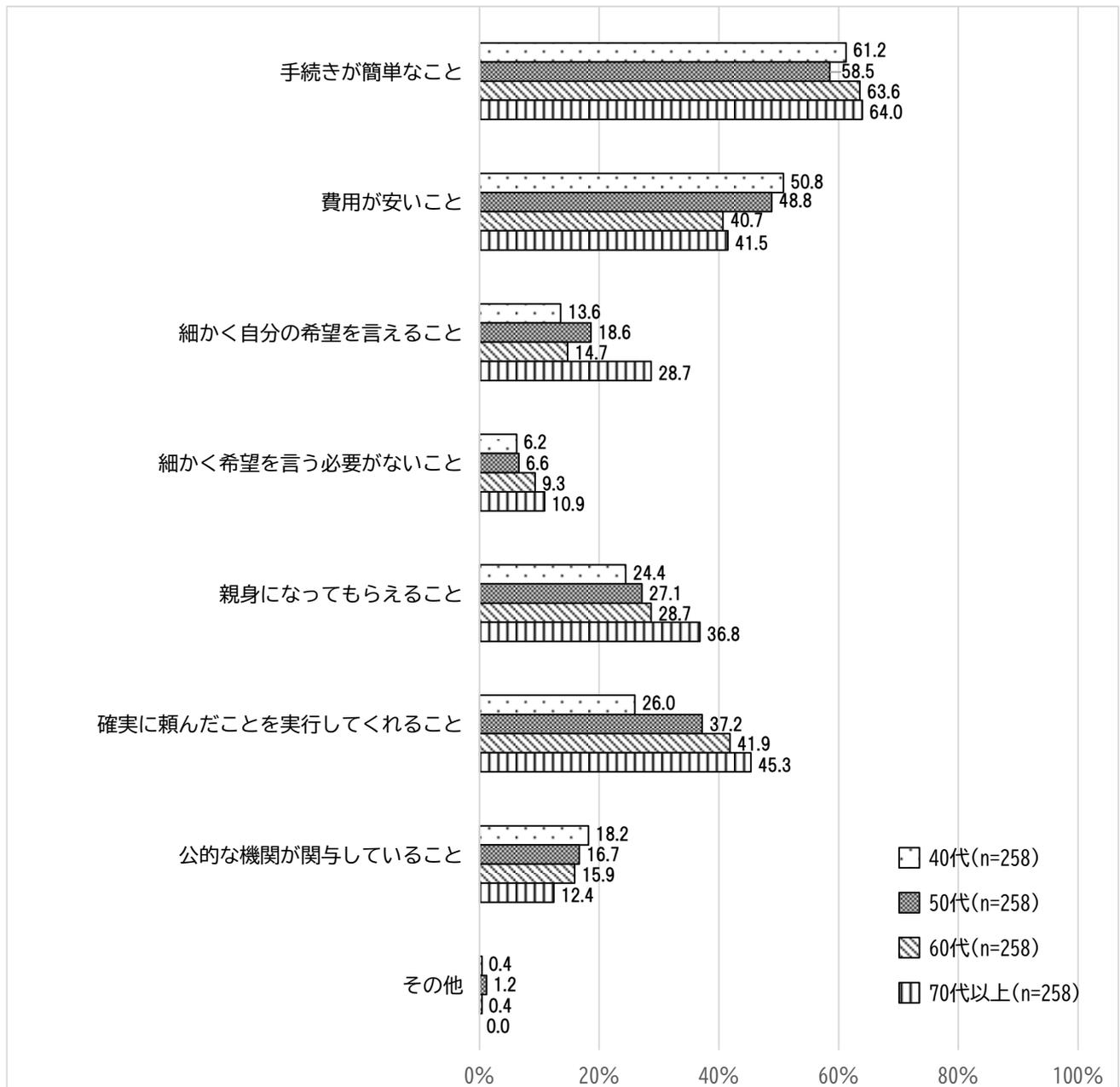
図表 38. お願いする際の気持ち：複数回答（最大5つ）



2.3.4 身元保証を頼む際に重要なこと

誰かに身元保証人などになってもらう際に重要なことを尋ねると、全世代を通して「手続きが簡単なこと」が重視されており、6割弱～強の人が回答していた。また「費用が安いこと」に関する回答が40、50代では5割弱、60代、70代以上では4割程度と多くなっていた。「確実に頼んだことを実行してくれること」に関しては、特に50代以上で多く選択されていた。70代以上に関しては「親身になってもらえること」も多かった。

図表 39. 身元保証人を頼む際に重要なこと：複数回答（最大3つ）

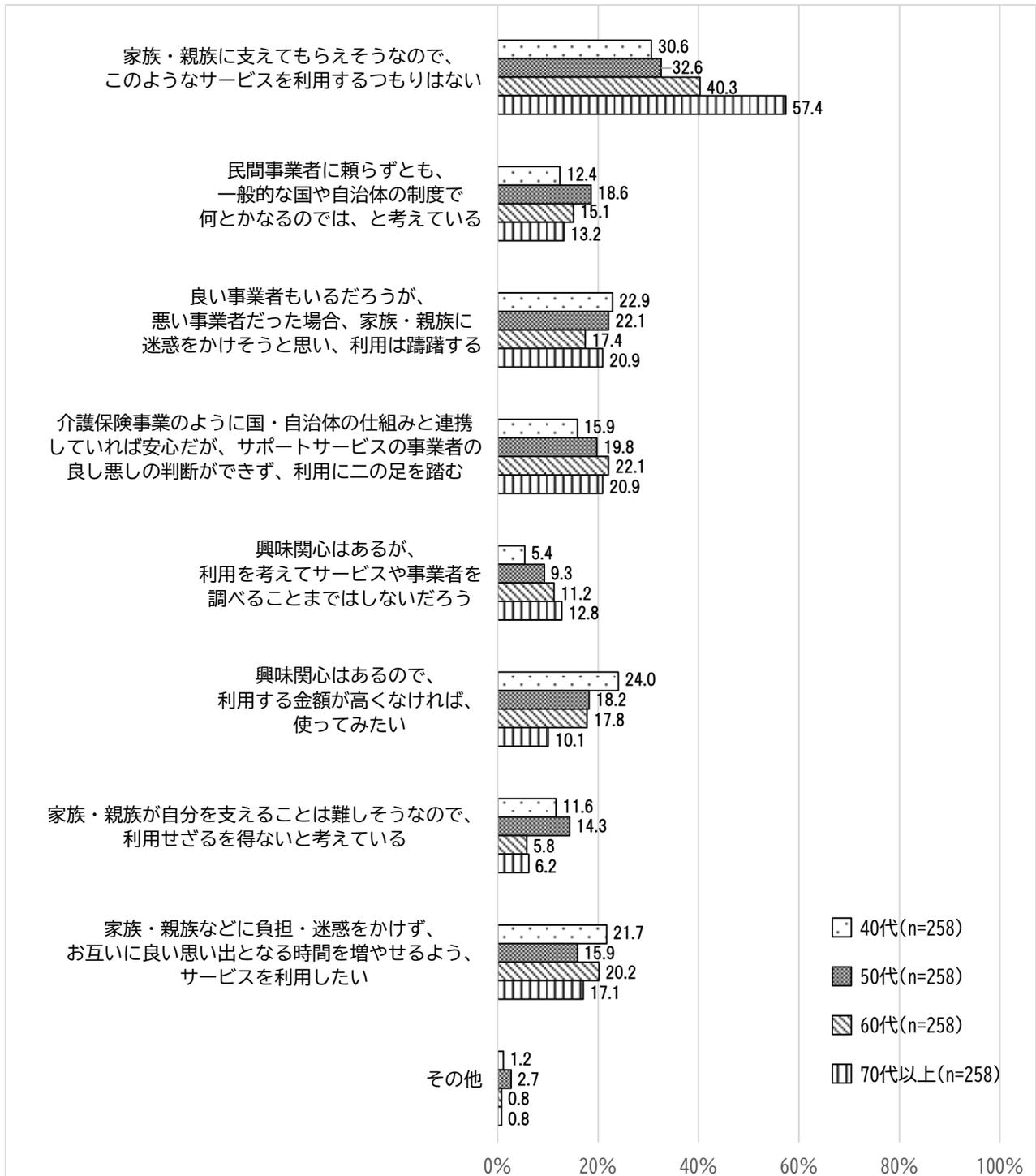


2.3.5 身元保証サービスの利用についての考え

身元保証サービスの利用意向について尋ねると、「家族・親族に支えてもらえそうなので、このようなサービスを利用するつもりはない」といった回答が70代以上で6割弱と目立つのに対し、40代で

は「興味関心はあるので、利用する金額が高くなければ、使ってみたい」と興味を示す回答も2割5分と多かった。一方、事業者の質に懸念を抱き「利用は躊躇する」といった回答も全世代を通して2割前後みられた。

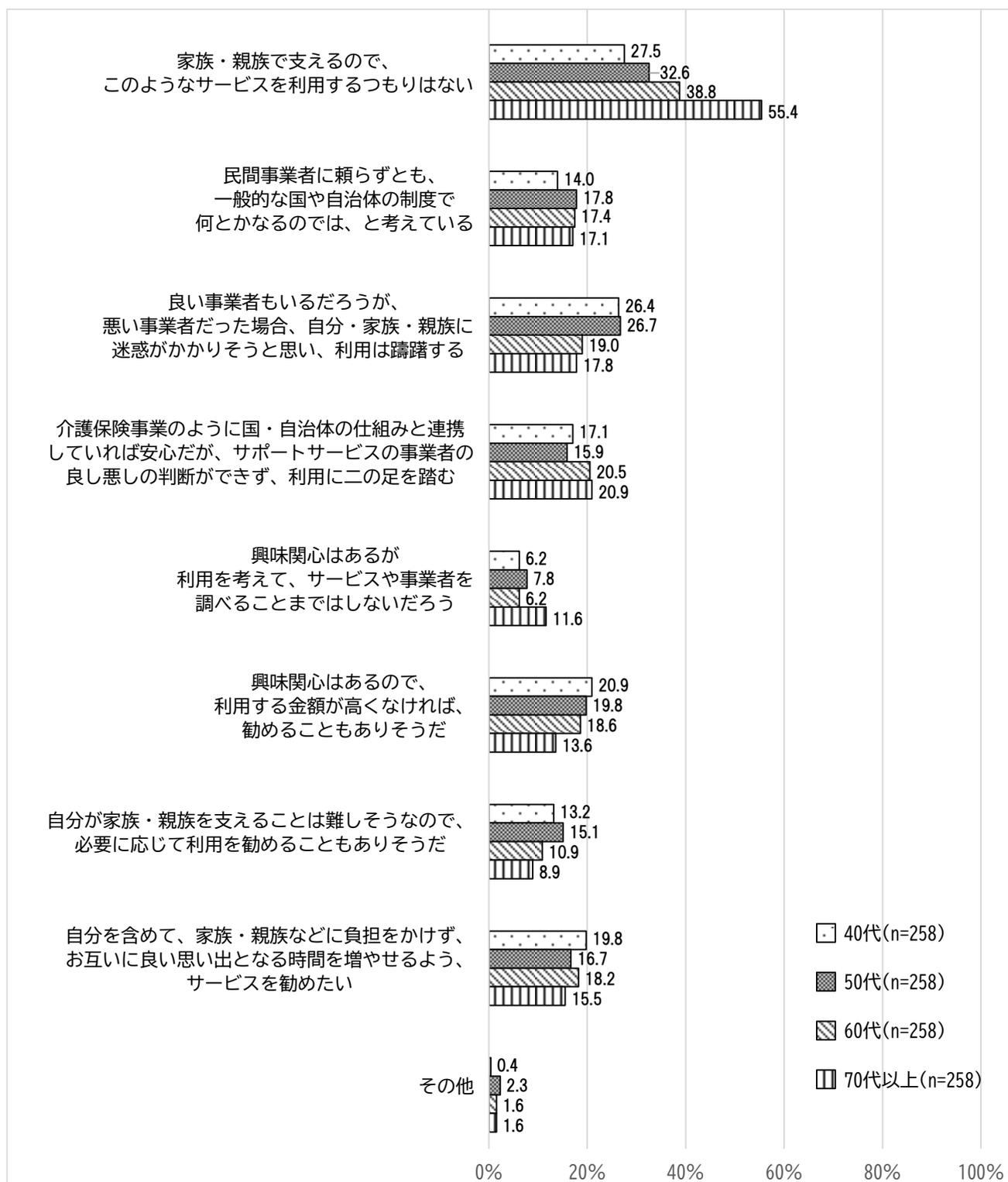
図表 40. 身元保証サービスの利用についての考え：複数回答（最大3つ）



2.3.6 家族が身元保証サービスを利用することについての考え

家族が身元保証サービスを利用することへの意向について尋ねると、「家族・親族で支える」といった回答が70代以上で目立ち、5割弱となっている。40代、50代の若年層では「躊躇する」といった回答も3割弱と多かった。

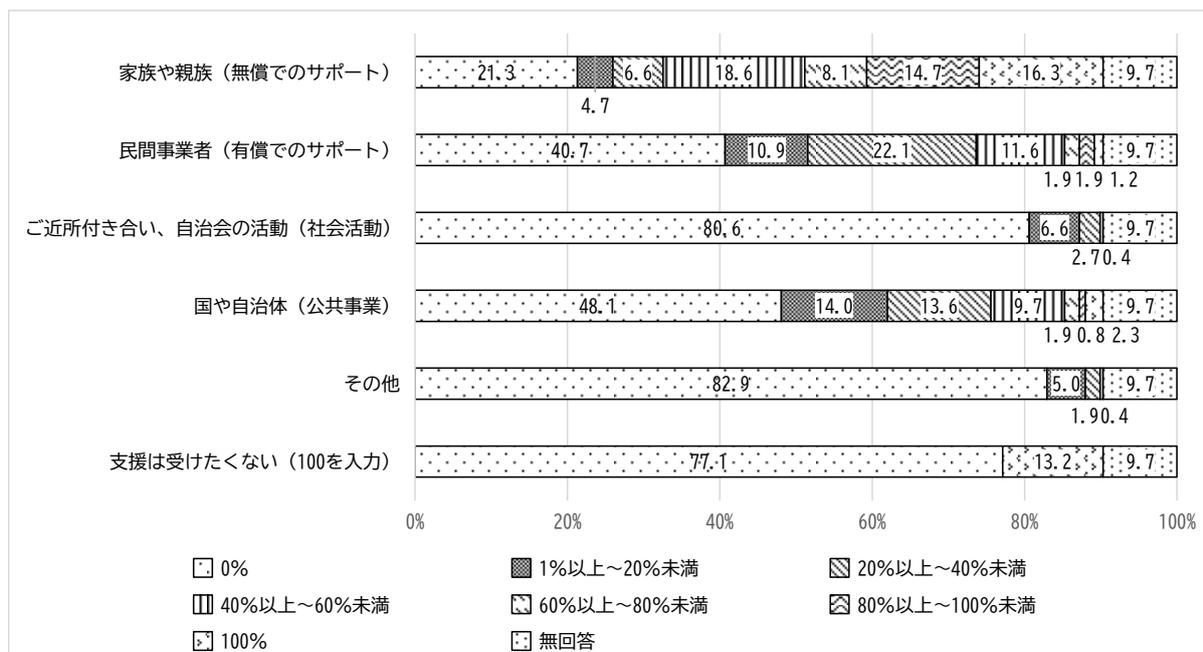
図表 41. 家族の身元保証サービスの利用：複数回答（最大3つ）



2.3.7 高齢期においてサポートを受けたい相手と比率

高齢期における身じまいについて誰にどのような割合で頼ることを希望するか、100%を、①家族や親族（無償でのサポート）／②民間事業者（有償でのサポート）／③ご近所付き合い、自治会の活動（社会活動）／④国や自治体（公共事業）／⑤その他、で割り振り、比率を回答してもらった。なお、支援を受けたくない場合には、「支援を受けたくない」に100%を割り振った。

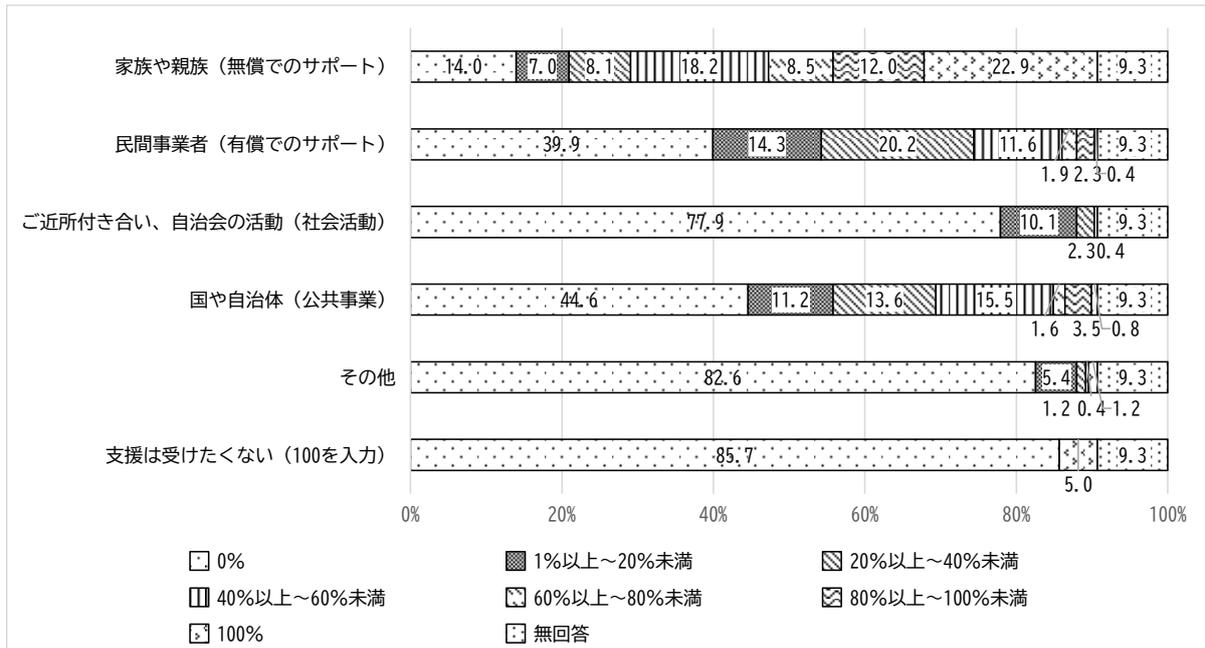
図表 42. 【40代】 高齢期にサポートを受けたい相手：数量回答



〈数値表〉

	全体	0%	1%以上 ～20%未 満	20%以上 ～40%未 満	40%以上 ～60%未 満	60%以上 ～80%未 満	80%以上 ～100% 未満	100%	無回答
40代									
家族や親族 （無償でのサポート）	(258)	n 55 % 21.3	12 4.7	17 6.6	48 18.6	21 8.1	38 14.7	42 16.3	25 9.7
民間事業者 （有償でのサポート）	(258)	n 105 % 40.7	28 10.9	57 22.1	30 11.6	5 1.9	5 1.9	3 1.2	25 9.7
ご近所付き合い、自治会の活 動	(258)	n 208 % 80.6	17 6.6	7 2.7	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 9.7
国や自治体 （公共事業）	(258)	n 124 % 48.1	36 14.0	35 13.6	25 9.7	5 1.9	2 0.8	6 2.3	25 9.7
その他	(258)	n 214 % 82.9	13 5.0	5 1.9	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 9.7
支援は受けたくない （100を入力）	(258)	n 199 % 77.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	34 13.2	25 9.7

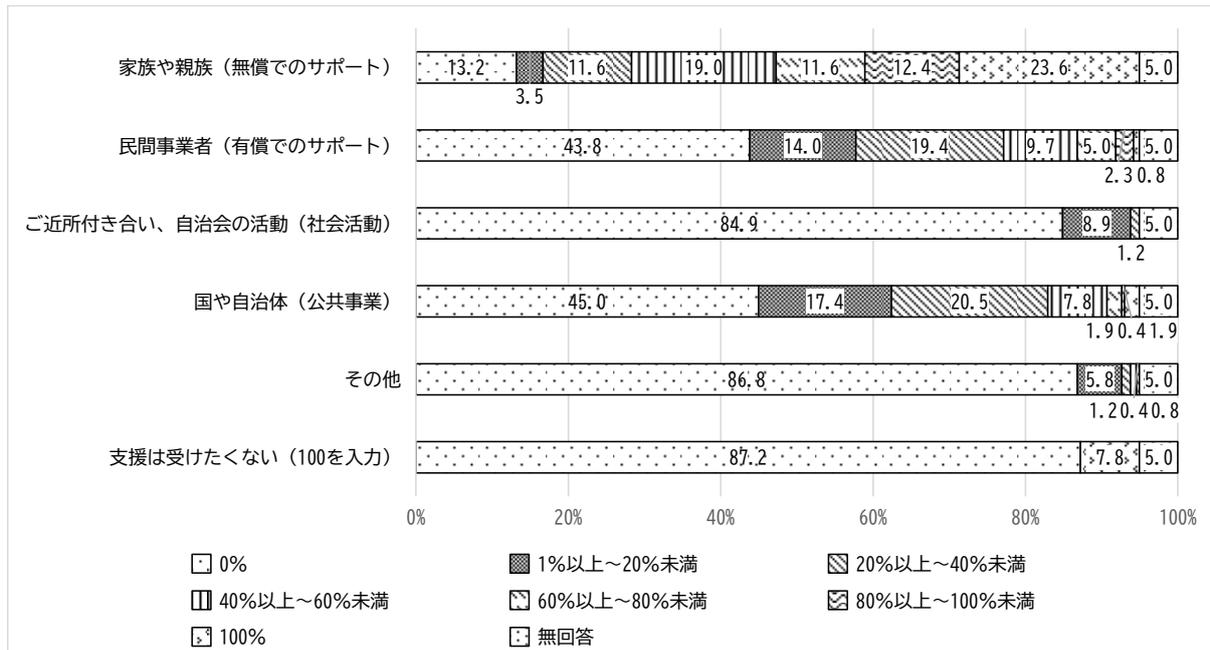
図表 43. 【50代】高齢期にサポートを受けたい相手：数量回答



〈数値表〉

		全体	0%	1%以上 ～20%未 満	20%以上 ～40%未 満	40%以上 ～60%未 満	60%以上 ～80%未 満	80%以上 ～100% 未満	100%	無回答	
50代	家族や親族 （無償でのサポート）	(258)	n 36 % 14.0	18 7.0	21 8.1	47 18.2	22 8.5	31 12.0	59 22.9	24 9.3	
	民間事業者 （有償でのサポート）	(258)	n 103 % 39.9	37 14.3	52 20.2	30 11.6	5 1.9	6 2.3	1 0.4	24 9.3	
	ご近所付き合い、自治会の活 動	(258)	n 201 % 77.9	26 10.1	6 2.3	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	24 9.3	
	国や自治体 （公共事業）	(258)	n 115 % 44.6	29 11.2	35 13.6	40 15.5	4 1.6	9 3.5	2 0.8	24 9.3	
	その他	(258)	n 213 % 82.6	14 5.4	3 1.2	0 0.0	1 0.4	0 0.0	0 1.2	3 9.3	
	支援は受けたくない （100を入力）	(258)	n 221 % 85.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 5.0	24 9.3

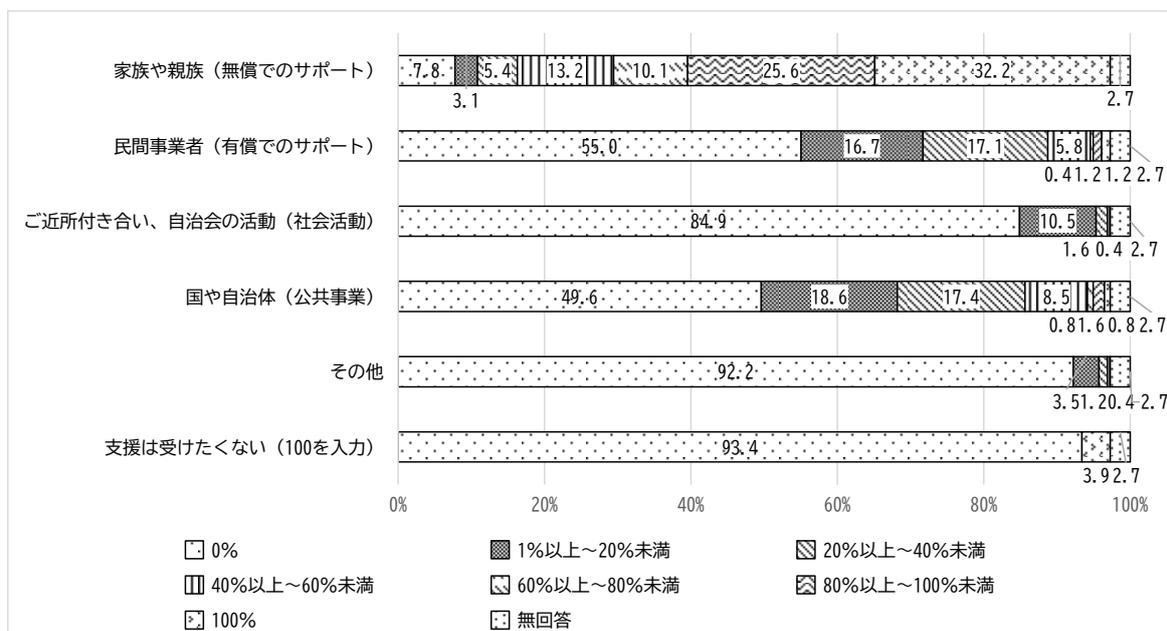
図表 44. 【60代】高齢期にサポートを受けたい相手：数量回答



〈数値表〉

		全体	0%	1%以上～20%未満	20%以上～40%未満	40%以上～60%未満	60%以上～80%未満	80%以上～100%未満	100%	無回答
60代	家族や親族（無償でのサポート）	(258)	n 34 % 13.2	9 3.5	30 11.6	49 19.0	30 11.6	32 12.4	61 23.6	13 5.0
	民間事業者（有償でのサポート）	(258)	n 113 % 43.8	36 14.0	50 19.4	25 9.7	13 5.0	6 2.3	2 0.8	13 5.0
	ご近所付き合い、自治会の活動	(258)	n 219 % 84.9	23 8.9	3 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 5.0
	国や自治体（公共事業）	(258)	n 116 % 45.0	45 17.4	53 20.5	20 7.8	5 1.9	1 0.4	5 1.9	13 5.0
	その他	(258)	n 224 % 86.8	15 5.8	3 1.2	2 0.8	0 0.0	1 0.4	0 0.0	0 5.0
	支援は受けたくない（100を入力）	(258)	n 225 % 87.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 7.8	13 5.0

図表 45. 【70 代以上】 高齢期にサポートを受けたい相手：数量回答



〈数値表〉

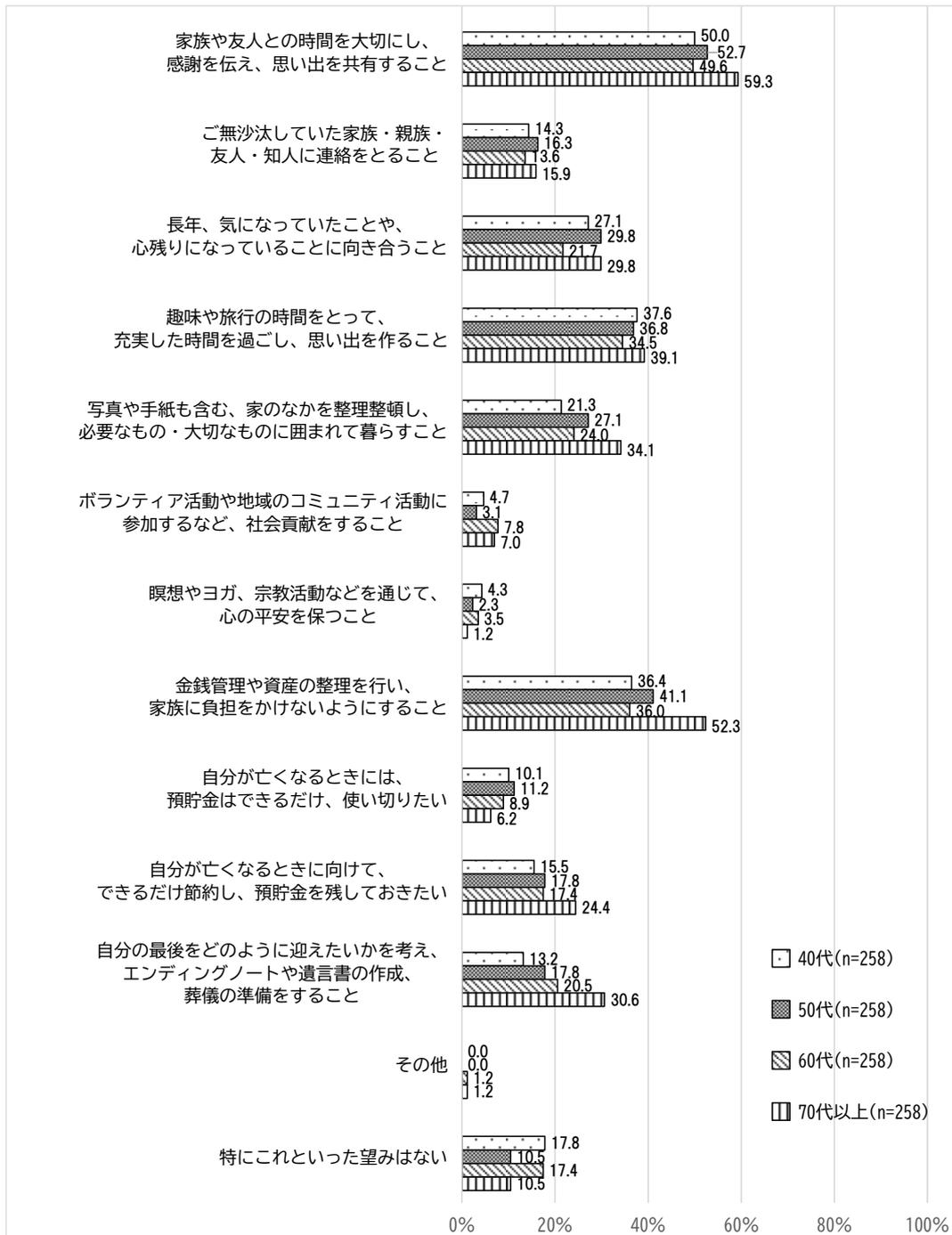
		全体	0%	1%以上 ~20%未 満	20%以上 ~40%未 満	40%以上 ~60%未 満	60%以上 ~80%未 満	80%以上 ~100% 未満	100%	無回答
70代 以上	家族や親族 （無償でのサポート）	(258)	n 20 % 7.8	8 3.1	14 5.4	34 13.2	26 10.1	66 25.6	83 32.2	7 2.7
	民間事業者 （有償でのサポート）	(258)	n 142 % 55.0	43 16.7	44 17.1	15 5.8	1 0.4	3 1.2	3 1.2	7 2.7
	ご近所付き合い、自治会の活 動	(258)	n 219 % 84.9	27 10.5	4 1.6	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 2.7
	国や自治体 （公共事業）	(258)	n 128 % 49.6	48 18.6	45 17.4	22 8.5	2 0.8	4 1.6	2 0.8	7 2.7
	その他	(258)	n 238 % 92.2	9 3.5	3 1.2	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 2.7
	支援は受けたくない （100を入力）	(258)	n 241 % 93.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 3.9	7 2.7

2.4 高齢期の身じまいについての望みと心配事

2.4.1 高齢期の身じまいについての望み

高齢期の身じまいについての望みをみると、いずれの年代でも「家族や友人との時間を大切に、感謝を伝え、思い出を共有すること」の割合が5割~6割弱で高かった。また、70代以上では「金銭管理や資産の整理を行い、家族に負担をかけないようにすること」や「エンディングノートや遺言書の作成、葬式の準備をすること」など、より具体的な身じまいについて選択する割合が高くなっていた。

図表 46. 高齢期の身じまいについての望み：複数回答（最大5つ）



〈男女別〉

高齢期の身じまいの望みについて、男女別で見ると、「写真や手紙を含む、家の中を整理し、必要なもの・大切なものに囲まれて暮らすこと」、「金銭管理や資産の整理を行い、家族に負担をかけないようにすること」、「自分の最後をどのように迎えたいかを考え、エンディングノートや遺言書の作成、葬儀の準備をすること」の3項目については、男性に比べて女性の方が選択する割合が高かった。また、女性に比べて男性の方が「特にこれといった望みはない」と回答する割合が高い傾向もみられた。

図表 47. 男女別 高齢期の身じまいについての望み：複数回答（最大5つ）

		全体		家族や友人との時間を大切に、感謝を伝え、思い出を共有すること	ご無沙汰していた家族・親族・友人・知人に連絡をとること	長年、気になっていたことや、心残りになっていることに向き合うこと	趣味や旅行の時間をとって、充実した時間を過ごし、思い出を作ること	写真や手紙も含む、家のなかを整理整頓し、必要なもの・大切なものに囲まれて暮らすこと	ボランティア活動や地域のコミュニティ活動に参加するなど、社会貢献をすること	瞑想やヨガ、宗教活動などを通じて、心の平安を保つこと
性別	男性	(516)	n	256	86	119	166	89	22	12
			%	49.6	16.7	23.1	32.2	17.2	4.3	2.3
	女性	(516)	n	290	69	161	216	186	36	17
			%	56.2	13.4	31.2	41.9	36.0	7.0	3.3
		全体		金銭管理や資産の整理を行い、家族に負担をかけないようにすること	自分が亡くなるときには、預貯金はできるだけ、使い切りたい	自分が亡くなる向きに、できるだけ節約し、預貯金を残しておきたい	自分の最後をどのように迎えたかを考え、エンディングノートや遺言書の作成、葬儀の準備をすること	その他	特にこれといった望みはない	
性別	男性	(516)	n	172	40	82	70	1	101	
			%	33.3	7.8	15.9	13.6	0.2	19.6	
	女性	(516)	n	256	54	112	142	5	44	
			%	49.6	10.5	21.7	27.5	1.0	8.5	

〈高齢の家族や親族への支援経験の有無別〉

高齢の家族・親族への支援経験別に、高齢期の身じまいについての望みをみると、「ご無沙汰していた家族・親族・友人・知人に連絡をとること」、「瞑想やヨガ、宗教活動などを通じて、心の平安を保つこと」、「自分が亡くなるときには、預貯金はできるだけ、使い切りたい」の3項目を除くすべての項目について、何らかの支援を行った経験がある人の方が回答割合が高かった。また、「特にこれといった望みはない」と回答する割合は、高齢の家族・親族への支援を経験したことがない人の方が高い傾向にあった。

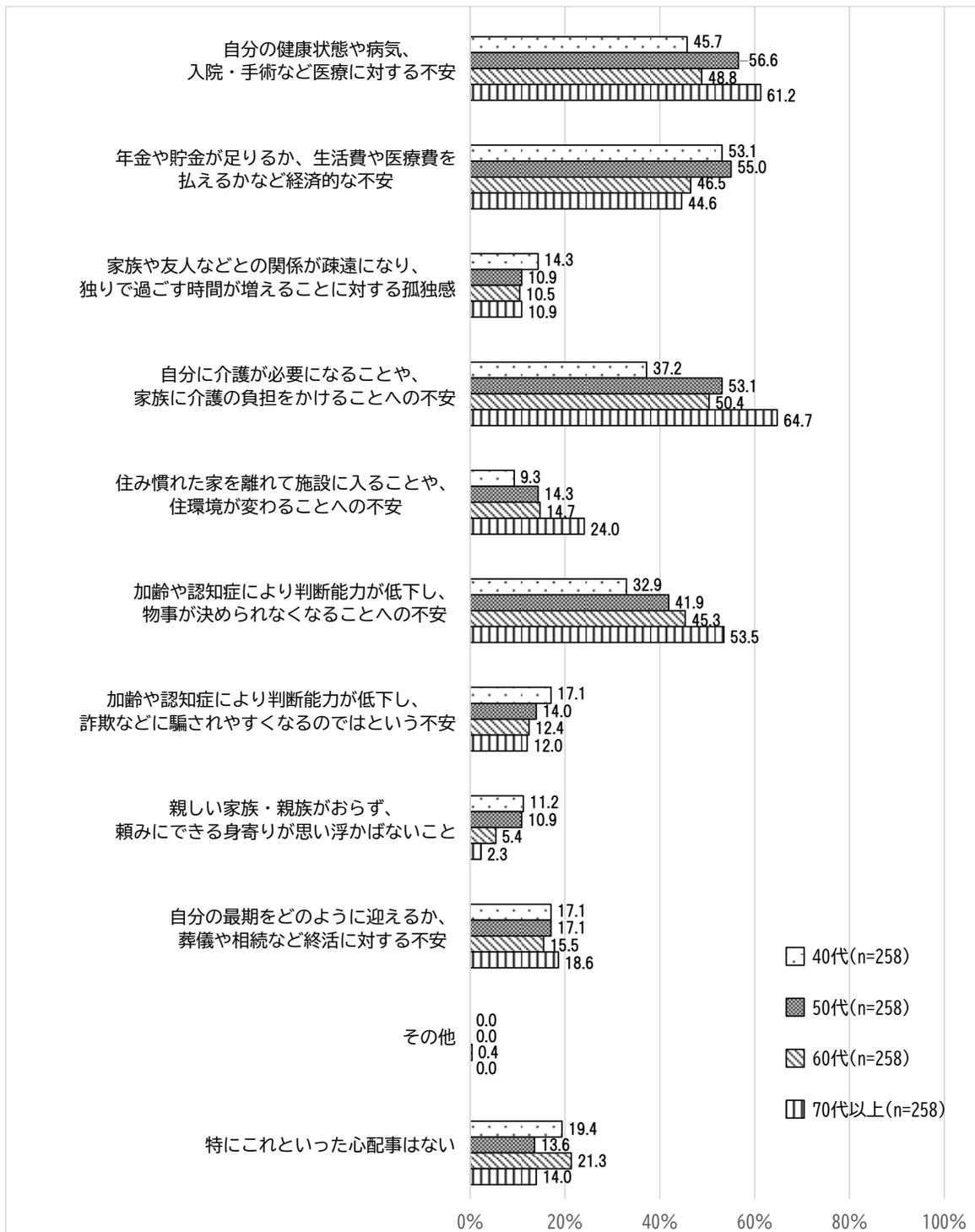
図表 48. 支援経験の有無別 高齢期の身じまいについての望み：複数回答（最大5つ）

		全体	家族や友人との時間を大切に、感謝を伝え、思い出を共有すること	ご無沙汰していた家族・親族・友人・知人との連絡をとること	長年、気になっていたことや、心残りになっていること、向き合うこと	趣味や旅行の時間をとって、充実した時間を過ごす、思い出を作ること	写真や手紙も含む、家の整理整頓し、必要なものに囲まれて暮らすこと	ボランティア活動や地域のコミュニティ活動に参加するなど、社会貢献をすること	瞑想やヨガなどを通じて、心の平安を保つこと
高齢の家族・親族への支援経験	在宅介護サービスの利用	(146)	n 82 %	20 13.7	44 30.1	76 52.1	51 34.9	16 11.0	4 2.7
	ホームや施設等への入所・退所・通所	(196)	n 118 %	24 12.2	55 28.1	99 50.5	79 40.3	19 9.7	5 2.6
	病院への入院・退院・通院	(384)	n 226 %	58 15.1	126 32.8	183 47.7	139 36.2	36 9.4	13 3.4
	全身麻酔を含む手術	(126)	n 78 %	14 11.1	39 31.0	56 44.4	44 34.9	12 9.5	3 2.4
	患者を主体に家族や近い人、医療・ケアチームとの将来の医療及びケアについての話し合い	(116)	n 72 %	16 13.8	35 30.2	59 50.9	49 42.2	16 13.8	5 4.3
	終末期（患者が助かる見込みのない状況）における医療及びケア	(123)	n 70 %	18 14.6	43 35.0	60 48.8	50 40.7	13 10.6	5 4.1
	故人の葬式・火葬・お墓・納骨などの手配	(286)	n 167 %	43 15.0	82 28.7	134 46.9	97 33.9	26 9.1	11 3.8
	故人の携帯や銀行の解約などの民間サービスの一連の手続き	(223)	n 129 %	31 13.9	59 26.5	106 47.5	68 30.5	21 9.4	8 3.6
	故人の死亡届や国民年金など役所での一連の手続き	(250)	n 137 %	36 14.4	66 26.4	113 45.2	76 30.4	25 10.0	9 3.6
	家の片づけを含む、故人の遺品の片づけ	(270)	n 164 %	42 15.6	83 30.7	127 47.0	99 36.7	24 8.9	9 3.3
	その他	(1)	n 0 %	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0
そのような経験はない	(493)	n 236 %	63 12.8	105 21.3	145 29.4	91 18.5	13 2.6	10 2.0	
		全体	金銭管理や資産の整理を行い、家族に負担をかけるようにすること	自分が亡くなる時には、預貯金はできるだけ使い切りたい	自分が亡くなる時に、向けて、できるだけ節約し、預貯金を残しておきたい	自分の最後をどのように迎えたいかを考え、エンディングノートや遺言書の作成、葬儀の準備をすること	その他	特にこれといった望みはない	
高齢期の家族・親族への支援経験	在宅介護サービスの利用	(146)	n 77 %	12 8.2	41 28.1	47 32.2	2 1.4	9 6.2	
	ホームや施設等への入所・退所・通所	(196)	n 105 %	19 9.7	48 24.5	61 31.1	2 1.0	15 7.7	
	病院への入院・退院・通院	(384)	n 204 %	41 10.7	91 23.7	110 28.6	4 1.0	26 6.8	
	全身麻酔を含む手術	(126)	n 68 %	8 6.3	35 27.8	39 31.0	3 2.4	11 8.7	
	患者を主体に家族や近い人、医療・ケアチームとの将来の医療及びケアについての話し合い	(116)	n 71 %	15 12.9	36 31.0	42 36.2	1 0.9	6 5.2	
	終末期（患者が助かる見込みのない状況）における医療及びケア	(123)	n 73 %	12 9.8	41 33.3	43 35.0	1 0.8	5 4.1	
	故人の葬式・火葬・お墓・納骨などの手配	(286)	n 153 %	29 10.1	75 26.2	84 29.4	4 1.4	22 7.7	
	故人の携帯や銀行の解約などの民間サービスの一連の手続き	(223)	n 126 %	19 8.5	66 29.6	69 30.9	3 1.3	15 6.7	
	故人の死亡届や国民年金など役所での一連の手続き	(250)	n 140 %	23 9.2	68 27.2	75 30.0	3 1.2	22 8.8	
	家の片づけを含む、故人の遺品の片づけ	(270)	n 156 %	32 11.9	73 27.0	87 32.2	3 1.1	20 7.4	
	その他	(1)	n 1 %	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
そのような経験はない	(493)	n 157 %	37 11.8	73 14.8	105 21.3	67 13.6	1 0.2	107 21.7	

2.4.2 高齢期の身じまいについての心配事

高齢期の身じまいについての心配事をみると、40代では「年金や貯金が足りるか」といった経済的な不安が5割強で最も高かった。50代～70代以上でも経済的な不安は高かったが、これらの年代では、その他にも医療や介護が必要になることや、認知症による判断能力の低下を心配する割合が高くなっていった。一方で、「特にこれといった心配事はない」という回答も一定数みられ、70代以上でも1割5分の人を選択した。

図表 49. 高齢期の身じまいについての心配事：複数回答（最大5つ）



〈男女別〉

高齢期の身じまいについての心配事を、男女別にみると、「年金や貯金が足りるか、生活費や医療費を払えるかなど経済的な不安」、「自分に介護が必要になることや、家族に介護の負担をかけることへの不安」、「加齢や認知症により判断能力が低下し、物事が決められなくなることへの不安」の3項目については、女性の方が選択する割合が高かった。また、「特にこれといった心配事はない」と回答する割合は、全ての年代で男性の方が高い傾向にあった。

図表 50. 男女別 高齢期の身じまいについての心配事：複数回答（最大5つ）

		全体		自分の健康状態や病気、入院・手術など医療に対する不安	年金や貯金が足りるか、生活費や医療費を払えるかなど経済的な不安	家族や友人などとの関係が疎遠になり、独りで過ごす時間が増えることに対する孤独感	自分に介護が必要になることや、家族に介護の負担をかけることへの不安	住み慣れた家を離れて施設に入ることや、住環境が変わることへの不安	加齢や認知症により判断能力が低下し、物事が決められなくなることへの不安
性別	男性	(516)	n %	259 50.2	224 43.4	52 10.1	223 43.2	78 15.1	179 34.7
	女性	(516)	n %	289 56.0	290 56.2	68 13.2	307 59.5	83 16.1	269 52.1
		全体		加齢や認知症により判断能力が低下し、詐欺などに騙されやすくなるのではという不安	親しい家族・親族がおらず、頼みのできる身寄りがないこと	自分の最期をどのように迎えるか、葬儀や相続など終活に対する不安	その他【 】	特にこれといった心配事はない	
性別	男性	(516)	n %	67 13.0	32 6.2	71 13.8	1 0.2	117 22.7	
	女性	(516)	n %	76 14.7	45 8.7	105 20.3	0 0.0	59 11.4	

〈高齢の家族や親族への支援経験の有無別〉

高齢の家族・親族への支援経験別に、高齢期の身じまいについての心配事についてみると、特に「自分の健康状態や病気、入院・手術など医療に対する不安」、「自分に介護が必要になることや、家族に介護の負担をかけることへの不安」、「加齢や認知症により判断能力が低下し、物事が決められなくなることへの不安」、「加齢や認知症により判断能力が低下し、詐欺などに騙されやすくなるのではという不安」の3項目については、何らかの支援経験がある人の方が選択する割合が高かった。また、「特にこれといった心配事はない」と回答する割合は、支援経験のない人の方で高い傾向にあった。

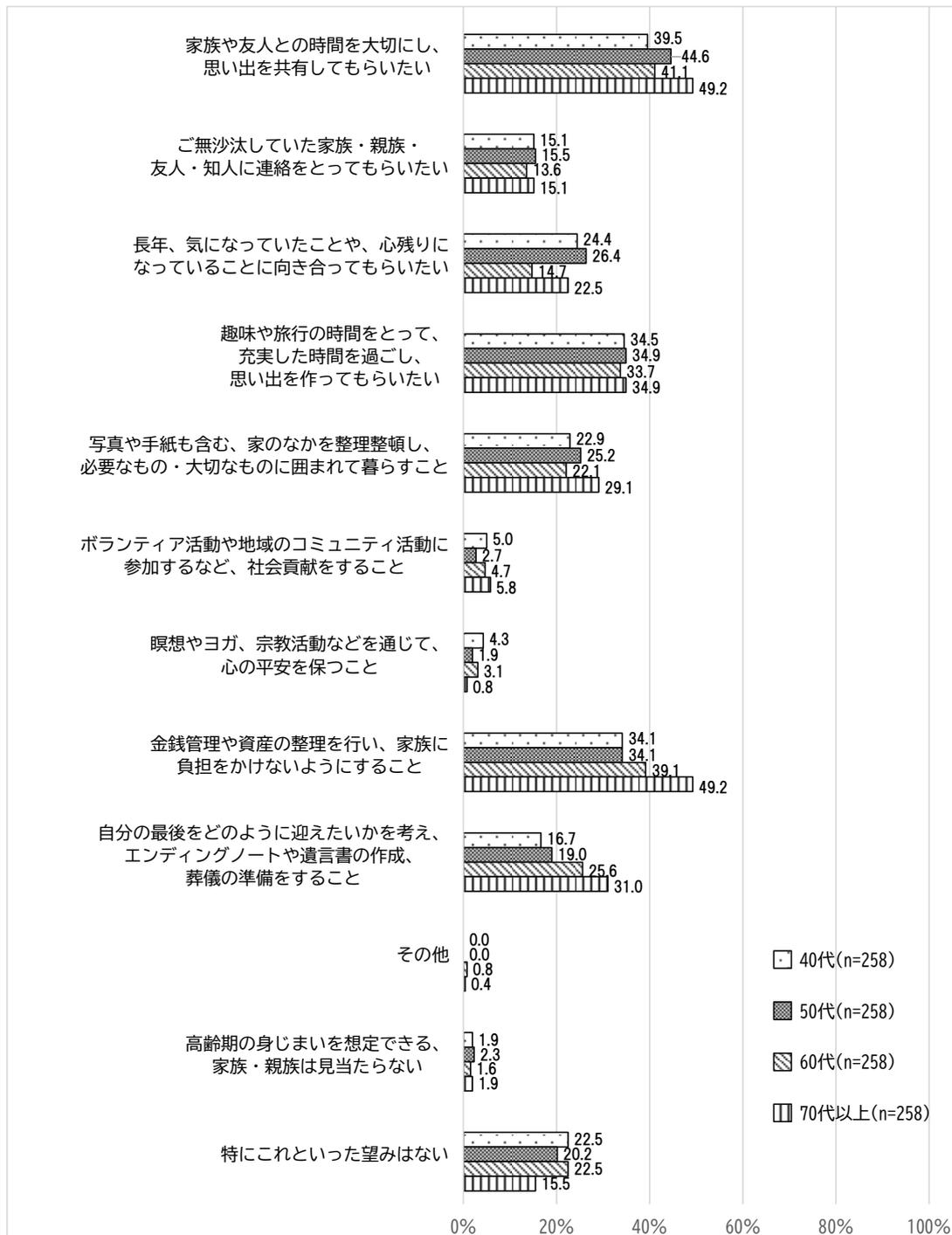
図表 51. 支援経験の有無別 高齢期の身じまいについての心配事：複数回答（最大5つ）

		全体	自分の健康状態や病気、入院・手術など医療に対する不安	年金や貯金が足りるか、生活費や医療費を払えるかなど経済的な不安	家族や友人などとの関係が疎遠になり、独りで過ごす時間が増えることに対する孤独感	自分に介護が必要になることや、家族に介護の負担をかけることへの不安	住み慣れた家を離れて施設に入ることや、住環境が変わることへの不安	加齢や認知症により判断能力が低下し、物事が決められなくなることへの不安
高齢期の家族・親族への支援経験	在宅介護サービスの利用	(146)	n 85 % 58.2	76 52.1	21 14.4	104 71.2	38 26.0	88 60.3
	ホームや施設等への入所・退所・通所	(196)	n 117 % 59.7	97 49.5	27 13.8	141 71.9	46 23.5	118 60.2
	病院への入院・退院・通院	(384)	n 231 % 60.2	222 57.8	54 14.1	251 65.4	84 21.9	223 58.1
	全身麻酔を含む手術	(126)	n 83 % 65.9	73 57.9	15 11.9	84 66.7	26 20.6	70 55.6
	患者を主体に家族や近い人、医療・ケアチームとの将来の医療及びケアについての話し合い	(116)	n 73 % 62.9	59 50.9	22 19.0	76 65.5	28 24.1	74 63.8
	終末期（患者が助かる見込みのない状況）における医療及びケア	(123)	n 81 % 65.9	70 56.9	20 16.3	82 66.7	31 25.2	75 61.0
	故人の葬式・火葬・お墓・納骨などの手配	(286)	n 178 % 62.2	152 53.1	37 12.9	195 68.2	55 19.2	173 60.5
	故人の携帯や銀行の解約などの民間サービスの一連の手続き	(223)	n 137 % 61.4	114 51.1	32 14.3	153 68.6	51 22.9	137 61.4
	故人の死亡届や国民年金など役所での一連の手続き	(250)	n 159 % 63.6	130 52.0	34 13.6	168 67.2	52 20.8	152 60.8
	家の片づけを含む、故人の遺品の片づけ	(270)	n 175 % 64.8	137 50.7	38 14.1	180 66.7	60 22.2	159 58.9
	その他	(1)	n 1 % 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
	そのような経験はない	(493)	n 229 % 46.5	218 44.2	41 8.3	196 39.8	52 10.5	144 29.2
			全体	加齢や認知症により判断能力が低下し、詐欺などに騙されやすくなるのではという不安	親しい家族・親族がおらず、頼みにできる身寄りがないこと	自分の最期をどのように迎えるか、葬儀や相続など終活に対する不安	その他	特にこれといった心配事はない
高齢期の家族・親族への支援経験	在宅介護サービスの利用	(146)	n 33 % 22.6	14 9.6	23 15.8	0 0.0	9 6.2	
	ホームや施設等への入所・退所・通所	(196)	n 38 % 19.4	17 8.7	35 17.9	0 0.0	13 6.6	
	病院への入院・退院・通院	(384)	n 72 % 18.8	43 11.2	76 19.8	1 0.3	25 6.5	
	全身麻酔を含む手術	(126)	n 24 % 19.0	15 11.9	21 16.7	0 0.0	9 7.1	
	患者を主体に家族や近い人、医療・ケアチームとの将来の医療及びケアについての話し合い	(116)	n 24 % 20.7	18 15.5	22 19.0	0 0.0	5 4.3	
	終末期（患者が助かる見込みのない状況）における医療及びケア	(123)	n 27 % 22.0	14 11.4	16 13.0	0 0.0	7 5.7	
	故人の葬式・火葬・お墓・納骨などの手配	(286)	n 52 % 18.2	22 7.7	55 19.2	0 0.0	19 6.6	
	故人の携帯や銀行の解約などの民間サービスの一連の手続き	(223)	n 39 % 17.5	18 8.1	37 16.6	0 0.0	14 6.3	
	故人の死亡届や国民年金など役所での一連の手続き	(250)	n 45 % 18.0	19 7.6	49 19.6	0 0.0	17 6.8	
	家の片づけを含む、故人の遺品の片づけ	(270)	n 46 % 17.0	22 8.1	60 22.2	0 0.0	19 7.0	
	その他	(1)	n 1 % 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	そのような経験はない	(493)	n 48 % 9.7	28 5.7	71 14.4	0 0.0	141 28.6	

2.4.3 家族・親族の高齢期の身じまいについての望み

家族・親族の高齢期の身じまいについての望みをみると、いずれの年代でも「家族や友人との時間を大切にし、思い出を共有してもらいたい」の割合が4割前後～5割弱で最も高かった。また、「趣味や旅行の時間をとって、充実した時間を過ごし、思い出を作ってもらいたい」といった、心残りなく最期の日々を過ごすための項目についても、年代による差は見られなかった。一方で、「金銭管理や資産の整理を行い、家族に負担をかけないようにすること」、「エンディングノートや遺言書の作成、葬式の準備」といった項目は年代が上がるにつれて、割合も高くなっていった。

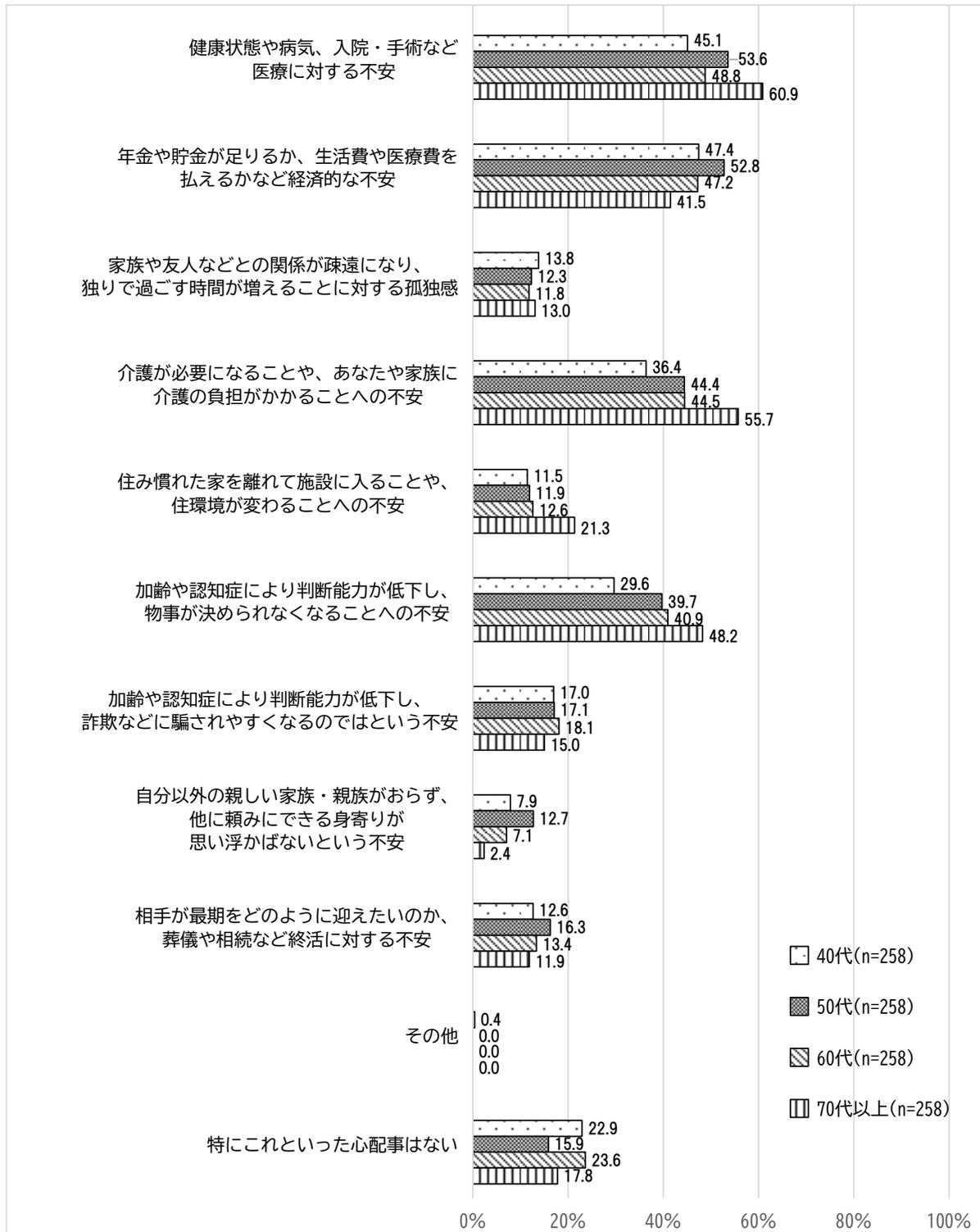
図表 52. 家族・親族の高齢期の身じまいについての望み：複数回答（最大5つ）



2.4.4 家族・親族の高齢期の身じまいについての心配事

家族・親族の高齢期の身じまいについての心配事をみると、40代～60代では医療に対する不安や経済的な不安が5割前後で高かった。一方、70代以上では、医療に対する不安も6割強と高いが、他にも、介護や認知症への不安が高くなっていった。

図表 53. 家族・親族の高齢期の身じまいについての心配事：複数回答（最大5つ）



SMBC京大スタジオ「誰もが生前・死後の尊厳を保つための持続可能な身じまい・意思決定とその支援」プロジェクト（幸せなしまい方PJ）ではさまざまな領域の意思決定を対象とした研究活動の結果について情報発信しています。詳細はプロジェクトのウェブサイトと調査報告アーカイブをご覧ください。ご意見・ご感想はinfo@ethics.bun.kyoto-u.ac.jpまでお願いいたします。